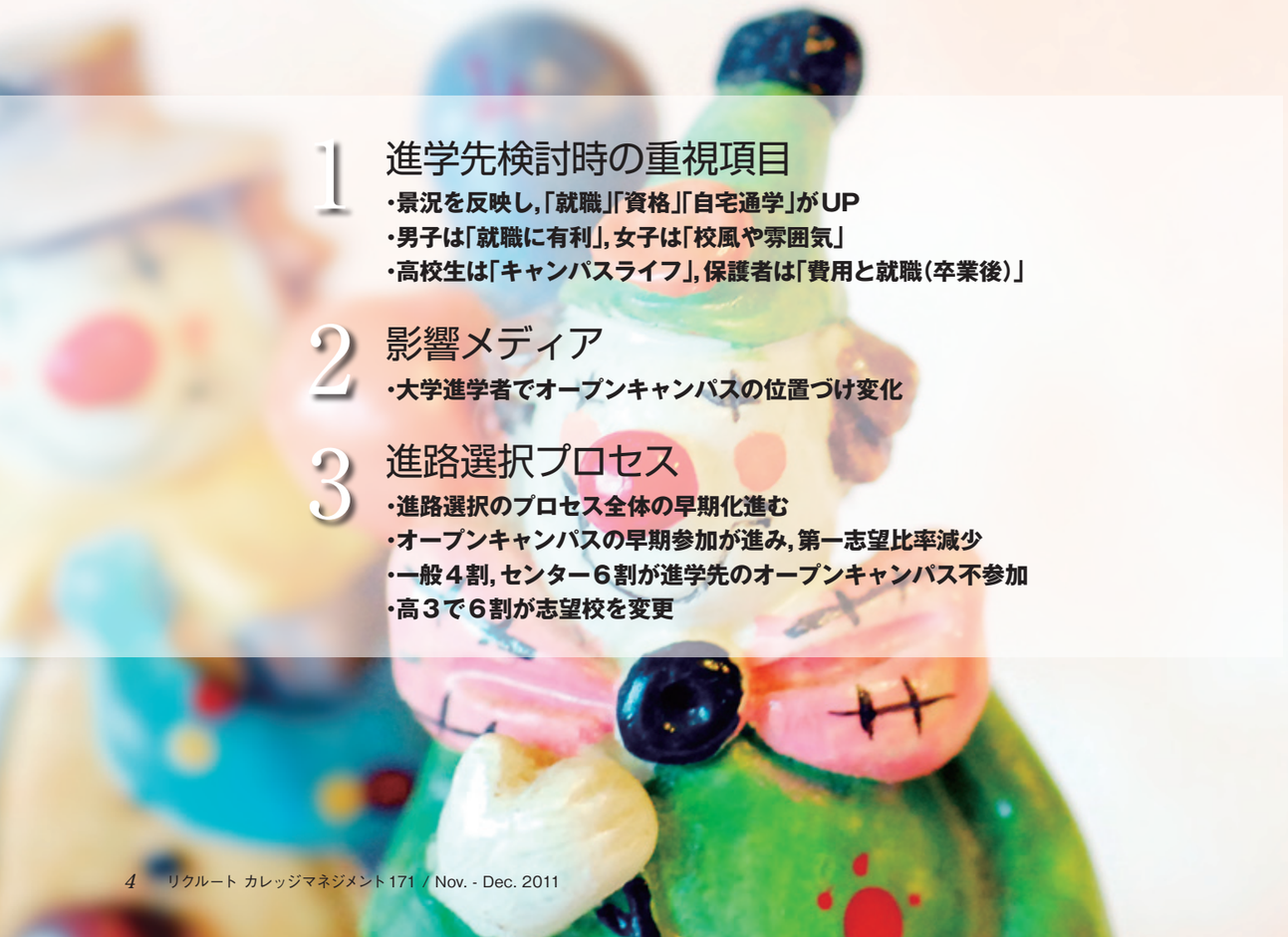
特集

リクルート「進学センサス2011」報告

リーマンショック後の進路選択行動を探る



1 進学先検討時の重視項目

- 景況を反映し,「就職」「資格」「自宅通学」がUP
- 男子は「就職に有利」, 女子は「校風や雰囲気」
- 高校生は「キャンパスライフ」, 保護者は「費用と就職(卒業後)」

2 影響メディア

- 大学進学者でオープンキャンパスの位置づけ変化

3 進路選択プロセス

- 進路選択のプロセス全体の早期化進む
- オープンキャンパスの早期参加が進み, 第一志望比率減少
- 一般４割, センター６割が進学先のオープンキャンパス不参加
- 高３で６割が志望校を変更

リクルートでは, 高校生の進路選択行動の変化を把握するために, 2年ごとに大規模調査「進学センサス」を実施している。前回2009年調査では, 私立大学でAO・推薦入試が過半数を占めるようになり, それに伴う進路選択行動がどう変化したかという観点で整理した。今回の「進学センサス2011」では, リーマンショック後の長引く不況によって, 高校生の選択行動がどのように変化したのかをテーマに調査を実施した。

結論から言うと, 今回の調査結果では, 3つの変化が明らかになった。1つめは, 長引く不況は, 高校生の進路選択において徐々にだが, 明らかに影響を与えているということである。高校生の学校選択重視項目では,「就職に有利」「資格取得に有利」といった“出口・卒業後”に関する項目と,「自宅から通えること」「学費が高くないこと」といった“家計”に関する項目が上昇しており, 家計と卒業後のキャリアを意識して進学先選びをしていることがわかる。また, 志望校選択時の地元志向も高まっている。

2つめは, 学校調べの早期化が進み, オープンキャンパスの位置づけが変化していることである。オープンキャンパスは, 今やほとんどの高校生が参加するイベントとなった。その一方, 特に進学校を中心に, 1, 2年生から参加する傾向が強まっている。背景には,「学部・学科名称から学ぶ内容がわからない」「入試の多様化に対応できない」高校現場において, 自分で見てきなさい, 聞いてきなさい, という進路指導が行われていることがあげられる。大学・短大・専門学校側から見れば, 1, 2年生の参加者が増えるということは, ファン層を増やすことにつながるものの, 歩留まりの悪化が懸念される。

3つめは, 保護者の関与がより高まっていることである。オープンキャンパスや学校見学会への保護者同伴比率が年々増加している。保護者と高校生の学校選択重視項目を比較すると, 保護者のほうが高校生にも増して「就職(卒業後)」や「費用」を重視しており, 保護者への情報提供にも工夫が必要だ。

今回の調査からは, 最終進路別だけでなく進学校か多様校か, 男子か女子か, 都市部か地方部かなどによって, 大きく進路選択行動や重視項目が異なっていることがわかった。記事のなかでご報告できるのは, 一部分ではあるが, 学生募集マーケティングの一助となれば幸いである。なお, 今回の調査は, 東日本大震災の直後に実施したため, 東北地区と茨城県の一部については調査対象から除いていることをご了承いただきたい。

(本誌編集長 小林 浩)

1　進学先検討時の重視項目

景況を反映し，「就職」「資格」「自宅通学」がUP

まず，志望校を検討する際に重視した項目について見ていこう（図表1）。進学者全体で上位5項目を見ると，トップは「学びたい学部・学科・コースがあること」（75.6％），2位「校風や雰囲気が良いこと」（49.8％），3位「就職に有利であること」（47.8％），4位「自分の興味や可能性が広げられること」（46.3％），5位「資格取得に有利であること」（41.5％）の順であった。前回調査（2009年）と比べると，「就職に有利であること」が4位から3位（45.1%→47.8%）に順位を上げ，就職不安を色濃く反映した結果となった。

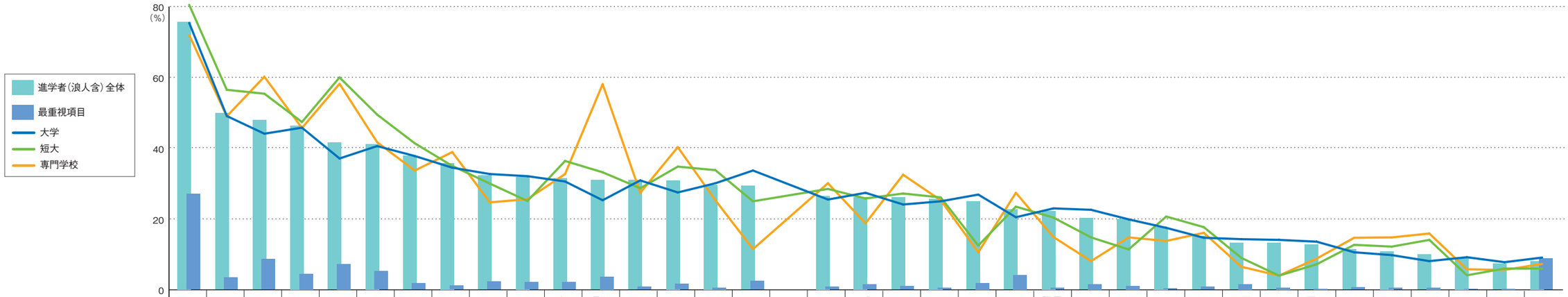
最終進路別に見ると，大学・短大・専門学校進学者のすべてで1位は「学びたい学部・学科・コースがあること」（大学75.3％，短大80.4％，専門学校71.9％）だった。しかし2位は，大学進学者が「校風や雰囲気が良いこと」（49.0％），短大進学者が「資格取得に有利であること」（59.9%），専門学校進学者が「就職に有利であること」（60.1％）と，進路先別に重視する項目は異なる。

男子は「就職に有利」，女子は「校風や雰囲気」

男女別では，男女とも1位は「学びたい学部・学科・コースがあること」（男子69.7％，女子79.8％）だが，2位は男子が「就職に有利であること」（45.9％）であるのに対し，女子は「校風や雰囲気が良いこと」（57.8％）と，男子を20ポイント近く上回るほど重視していることがわかる。

では，何をもって就職に有利と感じているのかを尋ねたところ（図表2），進学者全体の1位は「企業への就職率が良いこと」（54.7％），2位は「就職活動のサポート体制がしっかりしていること」（37.0％），3位は「希望する業界への就職が強いこと」（34.3％）だった。

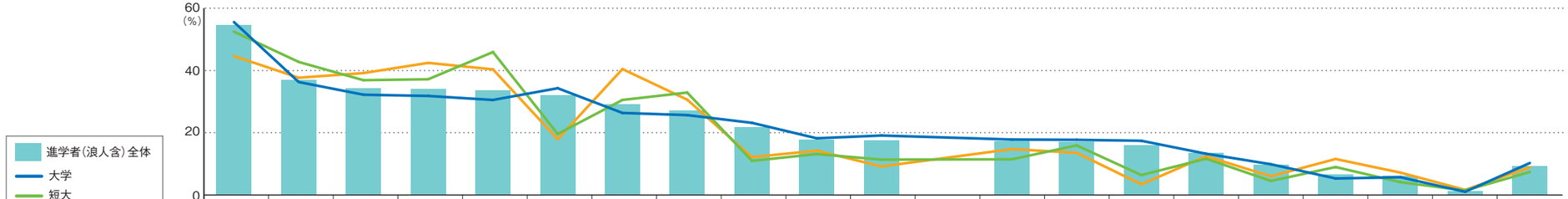
図表1　検討時の重視項目（進学者（浪人含）全体／複数回答）



		調査数	学びたい学部・学科・コースがあること	校風や雰囲気が良いこと	就職に有利であること	自分の興味や可能性が広げられること	資格取得に有利であること	自宅から通えること	学生生活が楽しめること	学習設備や環境が整っていること	将来の選択肢が増えること	伝統や実績があること	教育方針・カリキュラムが魅力的であること	専門分野を深く学べること	勉強するのに良い環境であること	卒業後に社会で活躍できること	キャンパスがきれいであること	偏差値が自分に合っていること	交通の便が良いこと	入試方法が自分に合っていること	社会で役立つ力が身につくこと	活気がある感じがすること	有名であること	学費が高くないこと	周囲の人からの評判が良いこと	クラブ・サークル活動が盛んであること	教育内容のレベルが高いこと	教養が身につくこと	学生の面倒見が良いこと	国際的なセンスが身につくこと	学生の学力が高いこと	学校が発展していく可能性があること	教授・講師陣が魅力的であること	先輩・卒業生が魅力的であること	寮や奨学金などが充実していること	規模が大きいこと	遊びにいくのに便利な立地であること	無回答
進学者(浪人含)全体（2011年）		10359	75.6	49.8	47.8	46.3	41.5	41.1	37.7	35.7	32.2	31.8	31.4	30.9	30.9	30.8	29.5	29.3	26.4	26.1	26.0	25.6	24.9	22.6	22.2	20.2	19.8	17.6	15.1	13.1	13.1	12.7	11.4	10.8	9.9	8.8	7.3	8.0
進学者(浪人含)全体(2009年)		12153	73.7	50.9	45.1	45.4	38.0	36.7	35.9	35.3	32.1	32.1	30.5	29.9	29.4	29.9	28.7	27.7	24.5	25.7	25.6	23.3	26.0	20.8	21.6	17.0	22.1	17.8	12.5	12.7	14.2	13.0	12.0	11.0	9.0	9.3	7.9	10.4
最終進路別	大学	7502	75.3	49.0	44.0	45.7	37.0	40.5	37.7	34.4	32.6	32.0	30.5	25.2	30.8	27.4	30.0	33.6	25.4	27.3	24.0	24.9	26.8	20.4	22.9	22.5	19.8	17.4	14.6	14.2	14.0	13.5	10.5	9.7	8.0	9.1	7.7	9.0
	短大	700	80.4	56.4	55.3	47.3	59.9	49.4	41.3	34.9	29.9	25.0	36.3	33.1	28.6	34.7	33.7	24.9	28.4	25.7	27.1	26.0	12.4	23.4	20.3	14.7	11.3	20.6	17.6	8.9	3.9	7.1	12.6	12.1	14.0	4.0	5.9	5.9
	専門学校	1479	71.9	48.9	60.1	45.6	58.1	41.6	33.6	38.8	24.6	25.5	32.6	58.0	27.3	40.2	25.2	11.4	30.0	18.7	32.4	25.2	10.5	27.3	14.8	8.0	14.7	13.7	16.0	6.4	3.9	8.7	14.6	14.7	15.8	5.7	5.5	7.2
	浪人	678	81.6	52.9	55.0	53.7	36.6	37.3	42.6	43.4	46.5	50.6	34.2	33.5	42.9	44.2	29.5	26.1	26.8	29.2	32.9	34.1	47.5	36.7	33.0	26.5	39.1	25.7	15.5	20.4	32.3	18.4	13.1	12.7	13.7	16.1	8.6	1.2
高校所在エリア別	北海道	401	75.3	46.1	52.9	45.9	44.1	22.4	37.9	37.7	31.7	29.2	34.7	36.2	31.7	34.7	24.4	27.9	16.7	21.9	25.2	21.4	16.2	24.2	17.5	20.2	20.2	18.0	9.7	11.2	10.2	11.5	13.7	11.2	14.7	8.0	2.7	8.5
	北関東・甲信越	989	76.0	49.5	48.2	45.6	43.0	27.7	35.8	34.2	28.9	29.8	33.9	34.3	31.9	30.8	27.0	30.8	19.2	24.8	26.9	24.5	19.7	23.5	18.8	19.5	18.2	17.3	14.6	11.5	10.3	12.8	12.3	10.6	10.7	7.3	6.3	8.2
	南関東	3482	76.1	56.7	47.2	48.3	38.9	54.0	40.7	39.9	34.6	35.8	34.4	30.3	33.7	32.4	33.4	29.3	33.7	28.1	28.0	29.9	31.0	17.9	26.0	21.9	22.7	20.3	19.2	15.0	15.4	14.3	12.6	12.6	7.6	9.7	9.5	8.6
	東海	1288	74.5	44.0	48.4	40.9	39.4	39.4	33.3	33.2	29.7	33.4	28.2	27.1	26.3	26.1	26.2	32.3	24.5	25.5	23.2	21.7	26.1	23.3	21.4	18.2	17.6	14.4	13.4	11.8	14.1	10.6	9.9	8.9	9.9	7.8	5.2	8.2
	北陸	250	70.0	39.2	48.0	44.4	44.0	20.8	34.0	28.0	28.8	26.8	32.0	28.8	27.6	29.2	25.6	32.4	16.8	28.4	23.6	22.0	17.6	31.6	20.4	16.8	20.4	15.6	10.4	7.2	8.0	10.4	11.6	10.4	12.8	5.6	7.2	8.0
	関西	1954	74.7	51.4	47.5	47.2	41.6	47.6	39.1	33.1	32.8	32.1	28.3	27.7	29.6	30.8	32.4	28.8	28.7	25.7	25.7	26.4	27.2	21.5	21.8	20.5	19.3	16.4	12.4	13.9	14.2	12.8	9.7	10.0	8.4	9.7	6.4	7.3
	中国・四国	926	76.5	44.4	47.1	45.8	45.5	22.8	35.3	34.6	30.1	27.5	29.9	34.1	29.5	30.6	24.9	28.5	17.6	26.0	24.6	22.4	17.8	29.4	19.8	19.1	18.5	16.7	14.9	9.5	11.6	12.0	11.3	11.1	13.7	8.0	6.5	7.1
	九州・沖縄	1018	77.4	40.1	48.2	46.5	46.6	28.8	35.3	33.8	32.0	24.4	29.1	36.6	30.9	31.5	24.6	25.9	20.7	23.0	25.3	21.8	14.9	30.3	19.2	18.8	16.2	17.1	12.4	14.0	8.8	11.2	10.6	8.8	13.7	8.2	8.1	7.4
男女別	男子	4208	69.7	38.6	45.9	40.7	33.2	35.0	30.2	29.5	33.3	32.9	23.8	24.8	25.3	28.3	24.0	29.6	22.1	25.8	22.9	20.5	28.9	21.0	18.0	20.5	20.3	13.4	12.1	10.1	14.2	13.7	9.0	8.3	7.2	9.9	6.2	7.7
	女子	6048	79.8	57.8	49.3	50.3	47.5	45.5	43.0	40.0	31.5	31.1	36.8	35.4	35.0	32.8	33.5	29.3	29.5	26.4	28.3	29.3	22.1	23.8	25.3	20.1	19.4	20.7	17.3	15.3	12.3	12.0	13.1	12.6	11.8	8.0	8.2	8.2
最重視項目		10359	27.0	3.4	8.6	4.4	7.2	5.2	1.7	1.1	2.2	2.1	2.1	3.6	0.8	1.6	0.5	2.4	0.8	1.4	0.9	0.4	1.8	4.1	0.4	1.5	1.0	0.3	0.8	1.5	0.5	0.2	0.6	0.4	0.5	0.1	0.2	8.7

100.0「進学者（浪人含）全体（2011年）」より5ポイント以上高い　全体値について　100.0「進学者（浪人含）全体（2011年）」で最もポイントが高い　※「進学者（浪人含）全体（2011年）」の降順ソート　進学者（浪人含）全体とは，大学・短大・専門学校進学者全体，浪人の合計。以下同。
100.0「進学者（浪人含）全体（2011年）」より5ポイント以上低い　100.0「進学者（浪人含）全体（2011年）」で2～5番目にポイントが高い　※2009年は東北を含んだ数字

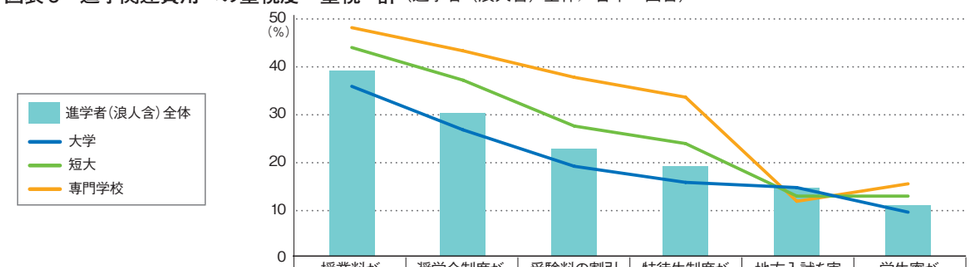
図表２　「就職に有利」と感じること（進学者（浪人含）全体／複数回答）



		調査数	企業への就職率が良いこと	就職活動のサポート体制がしっかりしていること	希望する業界への就職が強いこと	資格試験の合格率が高いこと	希望する職種につきやすいこと	大手・有名企業への就職実績が良いこと	実践的な技術が身につけられること	在学中、いろいろな体験ができること	有名な学校（大学・専門学校）であること	OB・OGとの結びつきが強いこと	公務員試験の合格率が高いこと		企業など外部機関との連携が強いこと	インターンシップが充実していること	偏差値の高い大学であること	在学中、たくさんの友人や先輩と交流できること	高度な研究に関わることができること	授業や実習での指導が厳しいこと	有名な先生の指導を受けられること	その他	無回答
進学者（浪人含）全体		10359	54.7	37.0	34.3	34.1	33.6	32.0	29.2	27.2	21.8	17.8	17.4		17.3	17.1	15.8	13.4	9.7	6.5	6.0	1.0	9.2
最終進路別	大学	7502	55.8	36.4	32.3	31.9	30.6	34.4	26.4	25.7	23.2	18.2	19.1		17.8	17.7	17.4	13.2	9.8	5.2	5.6	0.9	10.2
	短大	700	52.7	42.9	37.0	37.3	46.1	19.6	30.6	33.0	10.9	13.1	11.3		11.4	15.9	6.3	11.6	4.4	8.9	4.0	1.3	7.3
	専門学校	1479	44.8	37.8	39.3	42.6	40.5	17.9	40.6	30.7	12.1	14.2	9.1		14.7	13.5	3.3	12.4	5.9	11.5	7.1	1.5	8.8
	浪人	678	65.3	35.8	42.6	35.8	38.3	48.8	33.5	31.1	37.8	25.8	23.0		24.0	20.2	35.1	19.3	22.1	7.8	9.4	0.6	1.8
高校所在エリア別	北海道	401	53.6	39.4	33.4	34.4	32.4	23.4	33.2	26.4	13.2	16.5	17.7		18.0	16.0	9.5	15.2	8.0	9.0	6.5	1.0	9.2
	北関東・甲信越	989	51.0	38.1	33.3	36.8	37.3	26.8	33.2	26.5	19.4	15.0	18.4		17.0	16.2	12.9	11.5	8.8	7.0	6.1	1.4	9.5
	南関東	3482	57.1	39.2	36.2	32.4	33.1	36.0	28.9	29.1	26.0	21.8	17.1		18.7	18.0	19.0	15.1	9.9	6.5	6.9	1.0	9.9
	東海	1288	58.1	34.1	31.9	34.0	31.4	32.9	25.2	23.4	20.7	16.8	20.3		15.1	14.1	14.9	11.4	9.5	5.4	5.5	1.4	9.0
	北陸	250	54.0	32.4	29.6	32.0	28.4	29.2	29.2	26.0	20.0	11.2	19.6		17.2	22.0	14.0	11.2	10.0	5.2	6.0	0.4	10.8
	関西	1954	54.5	35.1	32.8	33.6	33.2	34.4	25.5	26.5	23.4	16.3	16.0		16.2	17.2	17.1	13.4	9.7	6.3	5.3	0.8	8.6
	中国・四国	926	48.5	38.1	33.9	36.5	34.2	26.0	32.4	29.6	15.8	15.7	16.6		17.3	16.8	12.1	13.5	9.8	6.2	5.1	0.8	8.0
	九州・沖縄	1018	52.8	34.9	36.8	36.2	36.0	27.6	33.4	25.8	17.3	14.8	17.0		18.1	18.5	12.2	11.8	10.1	7.5	5.5	0.9	8.7
男女別	男子	4208	56.4	30.2	32.4	28.2	29.5	35.9	25.2	21.1	21.9	19.4	18.7		17.8	13.6	17.2	12.7	12.6	5.1	7.2	1.2	8.9
	女子	6048	53.6	41.8	35.7	38.2	36.5	29.5	31.9	31.6	21.7	16.7	16.6		17.0	19.7	14.8	14.0	7.7	7.5	5.2	0.9	9.4
『就職に有利』重視者		4953	68.8	46.6	44.3	43.2	42.7	41.3	35.4	31.2	28.2	22.1	22.2		22.0	21.4	20.1	16.5	11.2	8.7	7.4	0.7	0.9

100.0「進学者（浪人含）全体」より５ポイント以上高い　100.0「進学者（浪人含）全体」より５ポイント以上低い　※「進学者（浪人含）全体」の降順ソート

図表３　進学関連費用への重視度　重視・計（進学者（浪人含）全体／各単一回答）



		調査数	授業料が安いこと	奨学金制度が充実していること	受験料の割引制度があること	特待生制度が充実していること	地方入試を実施していること	学生寮があること
進学者（浪人含）全体		10359	39.0	30.2	22.6	18.9	14.4	10.7
最終進路別	大学	7502	35.8	26.6	18.9	15.5	14.4	9.2
	短大	700	44.0	37.1	27.4	23.7	12.6	12.6
	専門学校	1479	48.2	43.3	37.7	33.5	11.5	15.2
	浪人	678	49.3	34.4	26.3	19.3	22.0	16.1
高校所在エリア別	北海道	401	41.9	39.9	23.4	25.9	19.2	15.5
	北関東・甲信越	989	44.0	33.5	23.8	23.2	19.3	14.2
	南関東	3482	32.2	25.4	19.6	14.0	6.3	6.5
	東海	1288	39.3	27.1	22.4	16.2	19.6	10.9
	北陸	250	51.2	35.6	26.0	21.2	30.4	13.2
	関西	1954	36.9	30.5	24.1	18.8	12.4	8.4
	中国・四国	926	50.0	34.2	24.4	22.7	23.7	17.4
	九州・沖縄	1018	46.4	37.6	26.0	28.2	19.5	17.7
男女別	男子	4208	37.0	26.4	21.5	16.1	16.4	10.0
	女子	6048	40.3	32.8	23.3	20.8	12.9	11.2

100.0「進学者（浪人含）全体」より５ポイント以上高い　100.0「進学者（浪人含）全体」より５ポイント以上低い　※「進学者（浪人含）全体」の降順ソート

最終進路別に見ると，すべての学校種で「企業への就職率が良いこと」が1位だが，大学は「大手・有名企業への就職実績が良いこと」，短大は「就職活動のサポート体制がしっかりしていること」や「希望する職種につきやすいこと」，専門学校は「資格試験の合格率が高いこと」や「希望する職種につきやすいこと」を重視する傾向にある。

男女別では，男女とも1位は「企業への就職率が良いこと」（男子56.4％，女子53.6％）だった。2位は男子が「大手・有名企業への就職実績が良いこと」に対し，女子は「就職活動のサポート体制がしっかりしていること」と，同じ就職でも，男女で「有利」と感じる部分が異なっている。

次に，志望校検討時の進学関連費用への重視度を尋ねると（図表3），1位は「授業料が安いこと」（39.0％）で，3人に1人が「授業料が安いこと」を重視していた。2位は「奨学金制度が充実していること」（30.2％），3位は「受験料の割引制度があること」（22.6％）となった。

最終進路別に見ると，専門学校進学者は「授業料が安いこと」「奨学金制度が充実していること」「受験料の割引制度があること」「特待生制度が充実していること」の4項目について，大学進学者，短大進学者より重視していることがわかった。

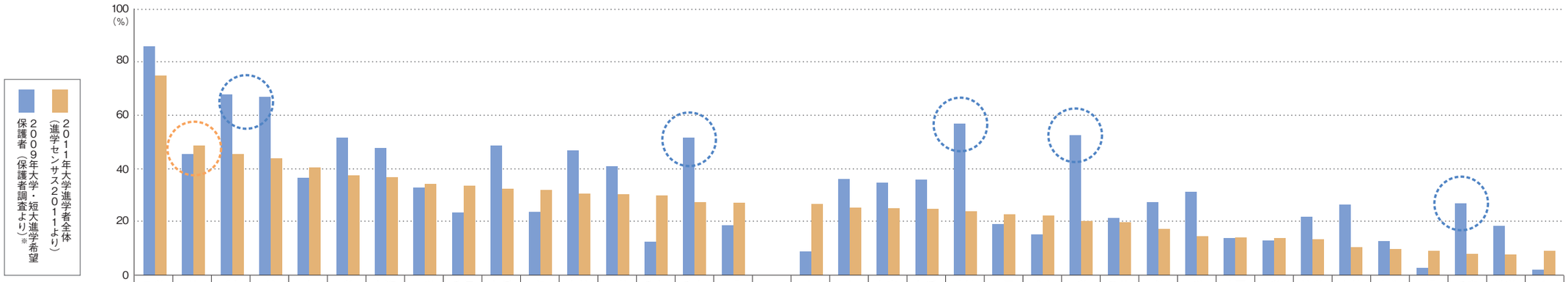
男女別では，男子に比べて女子のほうが「奨学金制度が充実していること」「特待生制度が充実していること」「授業料が安いこと」などについて重視している。

高校生は「キャンパスライフ」，保護者は「費用と就職（卒業後）」

進路選択において，高校生と保護者で重視項目に違いがあるかどうかをみたのが図表4だ。増減ポイントで高校生と保護者のポイント数にギャップがあったものをそれぞれ青，黄で示してある。なかでも保護者が重視している項目は，青丸で示した「社会で役立つ力が身につくこと」「学費が高くないこと」「卒業後に社会で活躍できること」「就職に有利であること」「自分の興味や可能性が広げられること」「寮や奨学金が充実していること」である。保護者は経済面や卒業後の進路などを重視していることが見てとれる。一方，高校生が重視しているのが黄丸で示した「校風や雰囲気」。高校生は，自分との適合感やキャンパスライフをより重視しているようだ。

地元進学志向をきいたところ（図表5），「残りたい・計」は前回の39.0%から46.1%に増加し，地元進学志向が強まっている。エリア別に見ると，特に南関東，東海，関西は，「ぜひ地元に残りたいと思っていた」のポイントが高く，都市部ほど地元進学志向が強いようだ。男女別では，女子の5割は地元に残りたいと答えている。

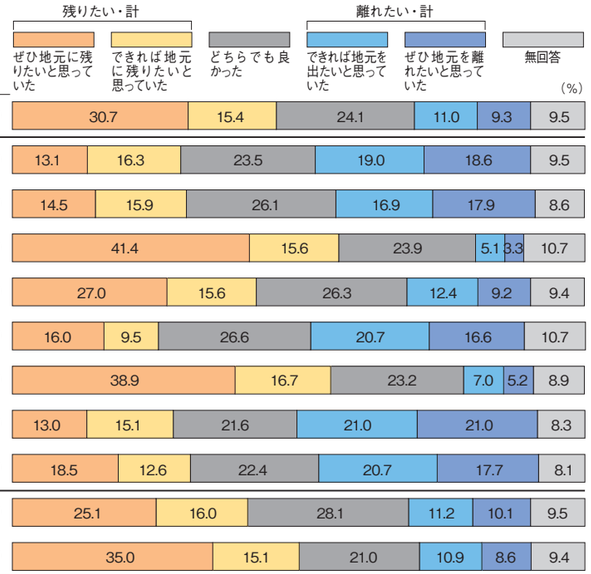
図表４　進路選択の重視項目（大学進学者全体，大学短大進学希望保護者との比較／複数回答）



		学びたい学部・学科・コースがあること	校風や雰囲気が良いこと	自分の興味や可能性が広げられること	就職に有利であること	自宅から通えること	学生生活が楽しめること	資格取得に有利であること	学習設備や環境が整っていること	偏差値が自分に合っていること	将来の選択肢が増えること	伝統や実績があること	勉強するのに良い環境であること	教育方針・カリキュラムが魅力的であること	キャンパスがきれいであること	卒業後に社会で活躍できること	入試方法が自分に合っていること		有名であること	交通の便が良いこと	専門分野を深く学べること	活気がある感じがすること	社会で役立つ力が身につくこと	周囲の人からの評判が良いこと	クラブ・サークル活動が盛んであること	学費が高くないこと	教育内容のレベルが高いこと	教養が身につくこと	学生の面倒見が良いこと	国際的なセンスが身につくこと	学生の学力が高いこと	学校が発展していく可能性があること	教授・講師陣が魅力的であること	先輩・卒業生が魅力的であること	規模が大きいこと	寮や奨学金などが充実していること	遊びにいくのに便利な立地であること	無回答
2009 年大学・短大進学希望保護者（保護者調査より）	771	86.4	45.7	68.1	67.2	36.8	51.8	48.0	32.9	23.5	48.9	23.7	47.1	41.0	12.5	51.8	18.7		8.8	36.3	34.8	35.9	57.2	19.2	15.4	52.8	21.5	27.6	31.5	13.9	13.1	22.0	26.6	12.7	2.6	27.0	18.5	1.9
2011 年大学進学者全体（進学センサス 2011 より）	7502	75.3	49.0	45.7	44.0	40.5	37.7	37.0	34.4	33.6	32.6	32.0	30.8	30.5	30.0	27.4	27.3		26.8	25.4	25.2	24.9	24.0	22.9	22.5	20.4	19.8	17.4	14.6	14.2	14.0	13.5	10.5	9.7	9.1	8.0	7.7	9.0
増減（ポイント）	—	-11.1	3.3	-22.4	-23.2	3.7	-14.1	-11.0	1.5	10.1	-16.3	8.3	-16.3	-10.5	17.5	-24.4	8.6		18.0	-10.9	-9.6	-11.0	-33.2	3.7	7.1	-32.4	-1.7	-10.2	-16.9	0.3	0.9	-8.5	-16.1	-3.0	6.5	-19.0	-10.8	

保護者（保護者調査）が 10 ポイント以上　高校生（センサス）が 10 ポイント以上　※高校生と保護者の進路に関わる意識調査　2011 年大学進学者全体の降順ソート

図表５　志望校検討時の地元選択志向（大学進学者全体／単一回答）



		調査数	ぜひ地元に残りたいと思っていた	できれば地元に残りたいと思っていた	どちらでも良かった	できれば地元を出たいと思っていた	ぜひ地元を離れたいと思っていた	無回答	2011年 残りたい計	2011年 離れたい計	2009年 残りたい計	2009年 離れたい計
大学進学者全体		(n=7502)	30.7	15.4	24.1	11.0	9.3	9.5	46.1	20.3	39.0	21.1
高校所在エリア別	北海道	(n=221)	13.1	16.3	23.5	19.0	18.6	9.5	29.4	37.6	36.1	23.0
	北関東・甲信越	(n=697)	14.5	15.9	26.1	16.9	17.9	8.6	30.4	34.9	22.0	39.4
	南関東	(n=2657)	41.4	15.6	23.9	5.1	3.3	10.7	57.0	8.4	51.5	8.1
	東海	(n=1007)	27.0	15.6	26.3	12.4	9.2	9.4	42.6	21.6	37.1	24.4
	北陸	(n=169)	16.0	9.5	26.6	20.7	16.6	10.7	25.4	37.3	18.9	39.6
	関西	(n=1451)	38.9	16.7	23.2	7.0	5.2	8.9	55.6	12.3	45.9	13.1
	中国・四国	(n=601)	13.0	15.1	21.6	21.0	21.0	8.3	28.1	41.9	24.4	36.2
	九州・沖縄	(n=666)	18.5	12.6	22.4	20.7	17.7	8.1	31.1	38.4	31.1	28.6
男女別	男子	(n=3289)	25.1	16.0	28.1	11.2	10.1	9.5	41.1	21.3	34.7	21.3
	女子	(n=4138)	35.0	15.1	21.0	10.9	8.6	9.4	50.1	19.5	43.0	20.9

2　影響メディア

大学進学者で オープンキャンパスの位置づけ変化

大学，短大，専門学校進学者に対し，それぞれの進路選択の行動時期に影響を受けたメディアについて尋ねた（図表6，7，8）。

進路選択の初期段階にあたる，将来の仕事や，進学か就職かを決めた時期には，すべての学校種で「家族からの情報やアドバイス」から最も強く影響を受けている。「進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期」は，大学・短大進学者が「家族からの情報やアドバイス」，専門学校進学者は「高校でもらったり自宅に届いた進学情報誌」が最も高くなった。

学んでみたい分野や学校について考えたり，学校を調べたり，最終的に入学した学校名を認知した時期は，どの学校種も「高校でもらったり自宅に届いた進学情報誌」の影響が最も強い。

文理選択や受験科目決定など勉強に関連することへの影響は，大学・短大進学者で「高校の先生からの情報やアドバイス」が大きい。専門学校進学者のみ「学校案内やパンフレット」から受験科目を決めている。三者面談の開始時期にはすべての学校種で高校の先生の影響が強い。入学した学校の入試方法を知ったのは，すべての学校種で「学校案内やパンフレット」だった。

最終的に入学した学校に関心を持ったり，第一志望校を決めたりといった検討ステージの後半期は，短大・専門学校進学者で「オープンキャ

図表6　進路選択時の影響メディア　（大学進学者全体／各時期決定者／各複数回答）

	調査数	高校でもらったり自宅に届いた進学情報誌	書店で買った進学情報誌	書店で買った本	高校の先生が作った資料	塾・予備校で配布された資料	高校の先生からの情報やアドバイス	塾・予備校の先生からの情報やアドバイス	友人・先輩からの情報やアドバイス	家族からの情報やアドバイス		学校内で行われた進学情報イベント	学校外で行われた進学情報イベント	オープンキャンパス・学校見学会	新聞広告	テレビ・ラジオCM	進学情報サイト（パソコン）	進学情報サイト（携帯）	ブログやSNS	電車の中の広告・駅の看板	学校案内やパンフレット	各学校のホームページ（パソコン）	各学校のホームページ（携帯）	その他	特になかった	無回答
1.進学か就職かを決めた時期	6873	10.9	0.3	0.4	1.4	0.7	6.3	1.8	7.6	31.3		1.3	0.1	1.9	0.1	1.1	0.6	0.3	0.1	0.1	1.0	0.7	0.5	2.5	38.4	1.5
2.進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期	6997	14.4	0.4	0.5	2.2	0.9	11.8	2.5	8.3	29.4		2.1	0.7	5.4	0.1	0.6	1.3	0.6	0.1	—	3.0	1.5	0.5	1.9	29.8	1.7
3.学んでみたい分野を考え始めた時期	7355	22.1	0.8	1.9	3.1	1.4	12.0	2.2	8.3	16.8		4.0	0.8	6.3	0.2	3.0	2.9	1.0	0.2	0.1	5.2	2.6	0.5	5.5	19.7	1.8
4.学んでみたい分野を決めた時期	7327	19.5	0.7	1.7	2.8	1.4	14.6	3.4	8.8	16.6		2.9	0.9	10.4	0.1	1.9	3.6	1.1	0.1	0.1	7.2	3.9	0.6	5.2	17.7	2.0
5.文系か理系かを決めた時期	7101	10.7	0.4	0.7	3.9	0.8	16.7	2.1	8.7	12.5		2.1	0.3	1.7	0.1	0.4	1.2	0.3	0.1	—	1.5	0.9	0.6	5.0	39.1	2.6
6.どんな学校があるかを調べ始めた時期	7260	41.4	1.8	1.0	5.3	2.6	13.9	3.2	6.5	9.2		5.0	2.0	8.8	0.2	0.3	8.7	2.9	0.2	0.2	10.7	9.6	1.2	0.6	6.3	1.8
7.興味を持った学校の資料請求をした時期	7076	36.2	0.9	0.4	1.9	2.0	10.1	2.3	4.3	7.8		3.7	2.5	8.2	0.3	0.2	8.4	3.6	0.2	0.3	10.1	10.4	1.3	0.5	9.2	2.2
8.受験する科目を決めた時期	6627	18.2	0.8	0.8	4.0	2.2	22.2	7.1	5.5	7.0		1.7	0.6	5.7	0.1	—	3.0	1.2	0.1	0.1	10.3	6.7	1.1	2.3	19.0	2.6
9.三者面談など，個別の進路指導が最初に行われた時期	7233	10.7	0.3	0.1	6.9	0.7	24.5	1.7	2.2	4.3		1.2	0.4	1.4	—	0.1	0.9	0.2	0.1	0.1	1.6	0.9	1.0	0.9	42.1	6.8
10.最終的に入学した学校の名前を初めて知った時期	7329	19.3	0.8	0.5	2.5	1.4	11.7	2.8	9.6	16.2		2.0	1.0	4.1	0.6	2.3	4.2	1.7	0.2	1.0	6.3	4.8	0.9	2.4	17.0	3.3
11.最終的に入学した学校に関心を持った時期	7202	17.2	0.8	0.5	2.2	1.5	14.3	3.6	9.4	13.0		2.4	1.2	16.9	0.2	0.5	4.2	1.6	0.3	0.3	14.0	10.4	1.2	1.6	10.3	2.8
12.第一志望の学校を受験校に決めた時期	7318	14.9	0.9	0.6	2.5	1.7	20.3	5.2	7.6	14.4		1.9	1.2	19.6	0.1	0.2	3.6	1.3	0.2	0.1	12.9	9.2	1.2	2.1	11.6	2.7
13.入学した学校の入試方法を知った時期	7324	21.1	0.9	1.0	4.7	2.6	17.1	3.8	3.6	4.7		1.9	0.9	11.1	0.1	0.1	4.2	1.8	0.1	0.1	22.2	13.6	1.6	0.8	7.2	2.7
14.最終的な入学校を決めた時期	7019	7.9	0.3	0.3	1.6	0.6	15.2	3.2	5.5	15.0		0.9	0.4	8.5	0.1	0.1	1.5	0.6	0.3	0.1	8.5	6.9	1.2	4.9	32.2	5.2
15.将来の仕事について考え始めた時期	6394	12.4	0.6	2.3	1.5	0.8	9.7	2.2	8.2	19.8		2.1	0.5	4.2	0.6	3.7	3.4	0.9	0.6	0.3	4.8	3.1	0.6	6.4	27.4	3.9

図表7　進路選択時の影響メディア　（短大進学者全体／各時期決定者／各複数回答）

1.進学か就職かを決めた時期	660	12.3	0.2	0.9	2.0	0.2	7.7	0.6	10.5	28.2		2.3	0.6	3.9	0.5	0.9	0.9	—	—	0.2	1.4	1.1	0.5	4.2	32.9	1.8
2.進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期	696	23.4	0.6	0.6	1.1	0.7	17.8	0.7	8.2	25.7		3.4	3.0	17.4	0.1	0.1	2.7	1.1	0.1	—	8.9	4.6	0.9	1.7	11.5	1.6
3.学んでみたい分野を考え始めた時期	688	21.1	0.4	1.3	1.6	—	7.7	0.9	8.6	18.8		2.0	1.6	10.0	0.3	1.7	2.2	1.5	0.3	0.1	5.7	2.6	0.7	6.1	22.1	2.5
4.学んでみたい分野を決めた時期	687	19.9	0.4	1.2	1.6	—	8.7	1.2	8.4	18.0		2.3	1.6	14.0	0.3	1.6	2.8	1.0	—	0.1	8.6	3.5	0.6	5.7	20.1	2.3
5.文系か理系かを決めた時期	576	11.6	0.5	0.5	4.3	0.2	13.9	0.5	8.5	10.4		1.7	0.5	2.3	—	0.2	0.9	—	—	—	1.4	1.4	0.3	7.1	38.4	3.0
6.どんな学校があるかを調べ始めた時期	686	46.8	1.0	0.4	3.6	1.2	13.4	1.2	6.3	8.9		6.9	4.4	9.5	0.3	0.1	8.3	4.8	—	0.6	10.9	8.6	1.7	0.4	4.7	1.9
7.興味を持った学校の資料請求をした時期	668	37.9	0.9	—	1.3	0.9	8.1	0.7	5.1	6.9		4.3	3.0	8.8	0.3	0.4	7.9	5.8	0.4	0.3	11.2	10.3	2.2	0.3	6.3	2.7
8.受験する科目を決めた時期	549	18.2	0.7	0.4	2.0	1.3	20.4	1.6	4.0	7.1		1.1	0.7	16.0	—	—	4.0	1.6	—	—	12.0	8.0	1.5	1.3	14.2	3.6
9.三者面談など，個別の進路指導が最初に行われた時期	674	12.0	0.1	0.1	5.5	0.1	23.4	0.6	2.7	4.6		0.7	0.1	3.1	0.1	0.1	1.2	0.3	—	—	2.2	1.6	2.4	1.3	39.3	7.4
10.最終的に入学した学校の名前を初めて知った時期	679	20.6	0.7	0.4	1.6	0.6	11.6	0.6	10.3	15.9		3.4	1.5	7.8	0.3	0.3	4.7	2.8	0.4	1.0	9.0	8.1	1.9	1.3	10.5	3.5
11.最終的に入学した学校に関心を持った時期	678	15.8	0.3	0.3	1.6	0.7	10.3	0.7	8.4	12.8		2.9	1.2	26.1	0.1	0.3	3.8	1.5	0.1	0.3	14.7	10.2	1.9	0.9	7.1	3.1
12.第一志望の学校を受験校に決めた時期	688	13.5	0.3	0.6	2.0	0.4	15.4	1.0	8.0	15.3		2.0	1.0	31.4	0.1	0.4	2.6	1.7	0.1	0.3	14.5	10.5	1.9	0.7	8.9	3.6
13.入学した学校の入試方法を知った時期	687	16.4	0.3	0.1	4.4	0.7	15.9	0.6	2.9	4.2		2.0	0.9	20.2	0.1	—	3.3	1.9	—	—	23.4	14.6	2.8	0.4	6.4	3.5
14.最終的な入学校を決めた時期	642	9.0	0.3	—	2.3	0.3	15.9	0.6	5.8	15.9		0.9	0.3	20.9	—	0.2	0.9	0.5	—	—	11.7	7.3	2.0	2.2	22.7	5.3
15.将来の仕事について考え始めた時期	631	12.2	—	1.9	1.9	0.5	7.9	0.6	8.6	20.9		2.5	1.0	4.1	0.6	1.7	3.0	1.3	0.2	0.2	4.9	2.9	1.1	9.0	25.8	5.7

図表8　進路選択時の影響メディア　（専門学校進学者全体／各時期決定者／各複数回答）

1.進学か就職かを決めた時期	1393	16.4	0.1	0.6	1.4	0.4	7.0	0.5	7.4	23.7		2.6	1.1	6.6	0.4	1.8	1.1	0.6	0.2	0.1	3.9	1.9	0.7	3.7	29.9	2.4
2.進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期	1448	21.1	0.4	0.4	1.9	0.3	11.2	0.7	9.9	18.1		4.9	3.0	17.9	0.3	0.8	2.6	1.7	0.1	—	9.3	4.9	1.4	2.6	12.6	2.2
3.学んでみたい分野を考え始めた時期	1435	20.3	0.1	1.7	1.4	0.4	6.3	0.6	8.5	17.6		3.7	1.6	7.7	0.6	3.5	2.6	1.6	0.3	—	7.0	2.8	0.6	6.5	18.3	3.1
4.学んでみたい分野を決めた時期	1427	17.2	0.2	1.1	1.1	0.1	7.3	0.8	7.8	16.4		3.6	2.2	14.8	0.6	2.5	2.6	1.7	0.4	0.1	8.2	4.6	1.2	5.3	16.7	3.4
5.文系か理系かを決めた時期	1009	10.9	0.1	0.6	4.2	0.3	16.0	1.5	10.0	10.4		1.8	0.6	1.8	0.1	0.5	0.8	0.4	0.2	—	2.8	1.2	1.0	3.4	35.7	4.0
6.どんな学校があるかを調べ始めた時期	1434	38.7	0.8	0.8	3.3	1.0	9.3	0.8	6.1	6.8		7.0	4.3	9.0	0.2	0.3	8.8	4.3	0.6	0.3	13.4	11.9	1.5	1.0	5.8	2.6
7.興味を持った学校の資料請求をした時期	1414	30.3	0.8	0.6	1.7	0.6	5.7	0.8	4.7	6.2		5.2	3.7	9.0	0.2	0.7	7.9	5.0	0.6	0.2	12.4	12.7	2.8	1.0	7.6	4.0
8.受験する科目を決めた時期	1037	14.1	0.4	0.8	1.5	0.5	11.5	1.1	5.7	6.1		2.4	1.5	15.2	0.2	0.5	3.3	1.2	0.2	0.3	15.9	9.8	1.6	1.8	14.8	4.7
9.三者面談など，個別の進路指導が最初に行われた時期	1382	11.1	0.4	0.1	5.1	0.4	16.9	0.2	2.2	4.0		1.7	0.7	2.7	0.1	0.2	0.7	0.4	0.1	—	3.5	1.2	1.7	1.4	41.5	9.9
10.最終的に入学した学校の名前を初めて知った時期	1434	20.8	0.5	0.5	1.6	0.5	7.6	0.8	8.8	11.8		5.2	2.7	7.3	0.4	3.3	4.7	2.7	0.3	0.3	11.1	9.3	2.0	1.4	8.2	4.2
11.最終的に入学した学校に関心を持った時期	1433	15.6	0.2	0.3	1.0	0.3	7.3	0.6	7.6	9.9		4.0	2.9	28.1	0.1	1.4	2.8	2.0	0.2	0.1	15.3	10.9	1.9	1.0	7.2	4.0
12.第一志望の学校を受験校に決めた時期	1431	12.3	0.3	0.1	1.1	0.6	10.1	0.9	6.4	11.7		3.0	1.6	34.8	0.2	0.1	2.2	0.9	0.2	—	14.7	9.2	2.0	1.2	8.5	4.6
13.入学した学校の入試方法を知った時期	1445	14.9	0.2	0.2	1.5	0.3	8.4	0.4	3.6	3.2		2.6	1.5	25.5	0.1	0.1	2.4	1.1	0.1	—	27.0	13.6	2.5	0.6	6.2	4.4
14.最終的な入学校を決めた時期	1318	9.0	0.2	0.2	0.8	0.3	8.8	0.8	5.2	12.5		2.3	0.8	27.6	—	0.2	1.1	0.8	0.3	—	14.1	7.1	2.0	2.4	18.2	6.7
15.将来の仕事について考え始めた時期	1388	11.7	0.1	1.7	1.4	0.2	6.1	0.6	8.1	18.0		2.3	0.8	10.1	0.2	3.7	2.2	0.6	0.6	0.1	6.1	3.5	1.0	5.5	24.1	7.1

100.0　項目別に最もポイントが高い　　100.0　項目別に2～5番目にポイントが高い

ンパス・学校見学会」が大きく影響している。一方，大学だけは異なり，入学した学校に関心を持ったのが「高校でもらったり自宅に届いた進学情報誌」，第一志望校の受験，入学校を決めた時期が「高校の先生からの情報やアドバイス」から影響を受けている。前回調査では大学進学者も，この両時期はオープンキャンパスがトップであった。大学進学者でオープンキャンパスの位置づけが変化していることが見てとれる。

3　進路選択プロセス

進路選択プロセス全体の早期化進む

まず，大学・短大・専門学校進学者，浪人の合計を進学者全体とし，この進学者全体の進路選択17プロセスを，「50%がそのプロセスを実行済みとなっていたタイミング」で整理して，時期の早い順に並べた（図表9）。さらに，この進路選択行動の流れを，高校1～3年のそれぞれどの時期に行っているか，今回と前回（2009年）で比較し，右図の学校を「調べる」「見る」「決める」の3つのプロセスに関連する項目で，ポイントが上がったものを赤矢印，下がったものを青矢印で示した。

すると，ほとんどの項目で高校1年時のポイントが増えており，2009年よりも進路選択行動の早期化が進んでいることがわかった。

この進路選択行動の流れを，以下，3つのプロセスに分類し，報告していくこととする。

学校を「調べる」

進学校と多様校，進学する学校種で，大きくプロセスが異なる

それでは，高校タイプを進学校（大短進学率70%以上），多様校（大短進学率70%未満）に区分し，それぞれ最終進路先によって進路選択行動の時期がどのように異なるか，図表10で分析したい。ここでは重要な項目を色分けし，「調べる」プロセスを中心に解説する。

進学校の場合，最終進路先を問わず，「文系か理系かを決めた時期」（黄色部分）が高校1年の秋に行われている。同じく「三者面談など，個別の進路指導が最初に行われた時期」（青色部分）は高校2年の夏にそろっている。しかし「進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期」（燈色部分）が，大学進学者と，短大・専門学校進学者では大きく異なることに気づく。これに関係しているのが，「将来の仕事について考え始めた時期」（緑色部分）だ。大学進学者が高校3年直前に対し，短大・専門学校進学者は高校2年の夏と早い。これは，大学進学者は最初に大学に行こうと決め，文理選択，分野決定と，受験を意識しながら進路を選択するが，短大・専門学校進学者は，三者面談と同時期にまず将来の仕事について考え始め，分野決定，学校種の決定と，出口から進路を決めていると予想される。

多様校の場合も同様の動きを見せる。大学・短大進学者は進学校より遅い高校2年に上がる直前に文理を選択（黄色部分）。専門学校進学者は，高校3年に上がる直前に決めている。将来の仕事を考えるのも，大学進学者は高校3年の春，短大・専門学校進学者は高校2年の秋だ（緑色部分）。学校種を決めるのも，進学校と同様，大学進学者と短大・専門学校進学者とでは大きく異なる。他方，多様校では，三者面談の時期が最終進路別に異なるようである（青色部分）。特に専門学校進学者の三者面談は最も遅く，三者面談より前に，生徒が将来の仕事を考えている。そして専門学校進学者は高校2年の秋以降，短期間で進路選択を進めていく。

なお「決める」のプロセスについても触れると，最終的な入学校を決める時期は，進学校の大学進学者は一般入試，進学校の短大・専門学校進学者，多様校の大学進学者は推薦入試，多様校の短大・専門学校進学者はAO入試の時期とほぼ一致する結果となった。

学校を「見る」

オープンキャンパスの早期参加が進み，第一志望比率減少

オープンキャンパス，学校見学会，体験入学会などの学校主催イベントへの参加経験を尋ねた（図表11）。全体では，高校3年間を通じ90.9%が参加し，前回調査よりさらに参加率がアップした。

高校1年生から3年生のそれぞれの全体の数値を経年で比較すると，高校1年生で約12ポイントの増加（20.5%→32.3%），高校2年生で約14ポイント増加（46.6%→60.1%），高校3年生で7ポイント増加（71.1%→78.1%）と，学年ごとの参加率が高ま

図表9　進路選択行動時期の流れ（進学者（浪人含）全体／単一回答）

学校を「調べる」　どんな学校があるのか，校名を知り，関心を持つ時期

学校を「見る」　調べた学校をより理解しようと，学校主催イベントに参加する時期

学校を「決める」　第一志望校を決め，出願する時期

進路選択 17 プロセス		高校1年・計	高校2年・計	高校3年・計
進学か就職かを決めた時期	2011	23.3	10.0	8.6
	2009	23.6	10.5	9.7
文系か理系かを決めた時期	2011	50.3	14.5	6.4
	2009	48.9	14.6	8.0
進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期	2011	23.0	16.9	24.4
	2009	22.3	17.4	26.9
学んでみたい分野を考え始めた時期	2011	27.0	26.0	19.8
	2009	26.0	27.4	20.7
最終的に入学した学校の名前を初めて知った時期	2011	19.3	18.3	31.3
	2009	20.8	20.7	27.3
学校主催イベントへ初めて参加した時期	2011	24.2	31.7	29.9
	2009	21.2	33.6	34.4
どんな学校があるかを調べ始めた時期	2011	27.6	38.6	27.2
	2009	23.5	38.9	31.9
三者面談など，個別の進路指導が最初に行われた時期	2011	37.2	21.0	34.0
	2009	34.9	20.2	37.1
学んでみたい分野を決めた時期	2011	19.5	24.9	39.2
	2009	18.2	25.9	40.7
将来の仕事について（就職や職業）考え始めた時期	2011	13.4	15.5	33.7
	2009	13.0	16.6	33.6
興味を持った学校の資料請求をした時期	2011	15.7	34.3	43.6
	2009	12.4	33.0	47.4
最終的に入学した学校に関心を持った時期	2011	10.4	19.3	56.5
	2009	7.2	17.1	64.5
受験する科目を決めた時期	2011	7.8	20.4	56.5
	2009	6.3	19.6	58.6
進学先主催イベントへ初めて参加した時期	2011	13.0	26.1	58.8
	2009	8.3	23.9	66.4
第一志望の学校を受験校に決めた時期	2011	7.5	17.7	68.9
	2009	5.7	15.7	73.7
入学した学校の入試方法を知った時期	2011	6.5	15.0	72.2
	2009	5.2	14.7	74.2
最終的な入学校を決めた時期（浪人することを決めた時期）	2011	1.4	4.5	86.7
	2009	1.3	3.9	87.8

図表 10　進路選択行動のタイミングの分析（進学校・多様校×最終進路別／累計 50% に達する時期）

	進学校(大短進学率70%以上)			多様校(大短進学率70%未満)		
	大学	短大	専門学校	大学	短大	専門学校
小学生の頃・それ以前						
中学生の頃	進学か就職かを決めた時期					
高校1年4月～6月	進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期	進学か就職かを決めた時期	進学か就職かを決めた時期	進学か就職かを決めた時期	進学か就職かを決めた時期	
高校1年7月～9月						進学か就職かを決めた時期
高校1年10月～12月	学んでみたい分野を考え始めた時期 文系か理系かを決めた時期 最終的に入学した学校の名前を初めて知った時期	文系か理系かを決めた時期 学んでみたい分野を考え始めた時	文系か理系かを決めた時期			
高校1年1月～3月			学んでみたい分野を考え始めた時	文系か理系かを決めた時期	文系か理系かを決めた時期 学んでみたい分野を考え始めた時期	
高校2年4月～6月				進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期 学んでみたい分野を考え始めた時期		学んでみたい分野を考え始めた時期
高校2年7月～9月	学校主催イベントへ初めて参加した時期 どんな学校があるかを調べ始めた時期 三者面談など,個別の進路指導が最初に行われた時期	どんな学校があるかを調べ始めた時期 三者面談など,個別の進路指導が最初に行われた時期 学校主催イベントへ初めて参加した時期 将来の仕事について考え始めた時期 学んでみたい分野を決めた時期	どんな学校があるかを調べ始めた時期 三者面談など,個別の進路指導が最初に行われた時期 将来の仕事について考え始めた時期	どんな学校があるかを調べ始めた時期 三者面談など,個別の進路指導が最初に行われた時期 最終的に入学した学校の名前を初めて知った時期	どんな学校があるかを調べ始めた時期	
高校2年10月～12月	学んでみたい分野を決めた時期		学んでみたい分野を決めた時期 学校主催イベントへ初めて参加した時期		最終的に入学した学校の名前を初めて知った時期 将来の仕事について考え始めた時期 学んでみたい分野を決めた時期 三者面談など,個別の進路指導が最初に行われた時期	どんな学校があるかを調べ始めた時期 将来の仕事について考え始めた時期
高校2年1月～3月	将来の仕事について考え始めた時期 興味を持った学校の資料請求をした時期	興味を持った学校の資料請求をした時期 最終的に入学した学校の名前を初めて知った時期	興味を持った学校の資料請求をした時期	学んでみたい分野を決めた時期 興味を持った学校の資料請求をした時期 学校主催イベントへ初めて参加した時期	学校主催イベントへ初めて参加した時期	学んでみたい分野を決めた時期 三者面談など,個別の進路指導が最初に行われた時期 興味を持った学校の資料請求をした時期 最終的に入学した学校の名前を初めて知った時期 文系か理系かを決めた時期 進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期
高校3年4月～6月	最終的に入学した学校に関心を持った時期 受験する科目を決めた時期 進学先主催イベントへ初めて参加した時期 第一志望の学校を受験校に決めた時期	進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期 最終的に入学した学校に関心を持った時期	進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期 最終的に入学した学校の名前を初めて知った時期	将来の仕事について考え始めた時期 最終的に入学した学校に関心を持った時期	興味を持った学校の資料請求をした時期 進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期 最終的に入学した学校に関心を持った時期	学校主催イベントへ初めて参加した時期 最終的に入学した学校に関心を持った時期 進学先主催イベントへ初めて参加した時期
高校3年7月～9月	入学した学校の入試方法を知った時期	進学先主催イベントへ初めて参加した時期 第一志望の学校を受験校に決めた時期 入学した学校の入試方法を知った時期 受験する科目を決めた時期	進学先主催イベントへ初めて参加した時期 第一志望の学校を受験校に決めた時期 入学した学校の入試方法を知った時期 最終的に入学した学校に関心を持った時期 受験する科目を決めた時期	進学先主催イベントへ初めて参加した時期 第一志望の学校を受験校に決めた時期 入学した学校の入試方法を知った時期 受験する科目を決めた時期	進学先主催イベントへ初めて参加した時期 第一志望の学校を受験校に決めた時期 入学した学校の入試方法を知った時期 受験する科目を決めた時期 最終的な入学校を決めた時期	第一志望の学校を受験校に決めた時期 入学した学校の入試方法を知った時期 受験する科目を決めた時期 最終的な入学校を決めた時期
高校3年10月～12月		最終的な入学校を決めた時期	最終的な入学校を決めた時期	最終的な入学校を決めた時期		
高校3年1月～3月	最終的な入学校を決めた時期					

進学先主催イベントへ初めて参加した時期の対象は,進学先主催のイベント参加者のみ(浪人は含まない)

ると同時に,低学年のポイントが増加していることがわかる。オープンキャンパスなどの参加時期が早まる傾向にあるようだ。

学校主催イベントに参加経験のある者に,参加した校数を尋ねると(図表12),平均参加校数は3.66校と,前回の3.40校より増加していた。

学校種別の平均参加校数は,大学進学者(3.73校),短大進学者(3.69校),専門学校進学者(3.48校)の順になった。男女別では,男子よりも女子のほうが平均参加校数が多い。

進学先校主催イベントに参加した者に,参加時点で第一志望だったかどうかを尋ねた(図表13)。すると,進学者全体の5割弱(46.6%)が「第一志望だった」と回答したが,前回に比べて3.6ポイント減少した。「志望校想定・計」も79.7%で,前回より4.2ポイントの減少。学校主催イベントへの参加時期が早期化したことで,第一志望ではない学校に参加している傾向が見てとれる。最終進路別には,「志望校想定・計」にほとんど差はみられないが,「第一志望だった」をみると,短大進学者では51.7%と,大学・専門学校進学者に比べ高めとなっている。

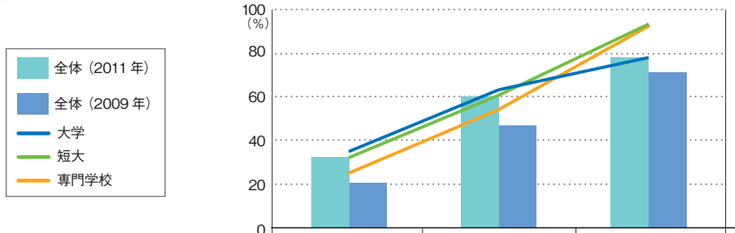
男女別でもエリア別でも,参加校数の多寡と,第一志望比率はほぼ反比例の関係となっている。

ここで図表10に戻り,イベントの参加時期を見ると,「学校主催イベントに初めて参加した時期(桃色部分)が,進学校か多様校かで大きく異なっており,進学校の大短進学者ほど早期に参加していることがわかる。一方「進学先主催イベントへ初めて参加した時期」(紫色部分)は高校3年になってから集中している。つまり,高校3年になってようやく,半分以上の生徒が最終進学先を訪れるのだ。

前回調査では,オープンキャンパスは最終志望校絞り込みの場であったが,今回調査では「見る・体験の場」へと位置づけが変化しているようだ。大学・短大・専門学校側から見れば,1・2年生の参加者が増えることは,ファン層を増やすことにつながるものの,歩留まりの悪化が懸念される。

さらにオープンキャンパスをはじめ進路プロセスが早期化するのと同時に,半分の生徒が高校3年以降に最終進学先決定にいたることから,学校選びは早期化かつ長期化しているともいえよう。なお例外として,多様校の専門学校進学者は「学校主催イベントへ初めて参加した時期」と「進学先主催イベントへ初めて参加した時期」が同じ時期で(図表10),高校3年春に,学校を「見る」時期が集中することもつけ加えておく。

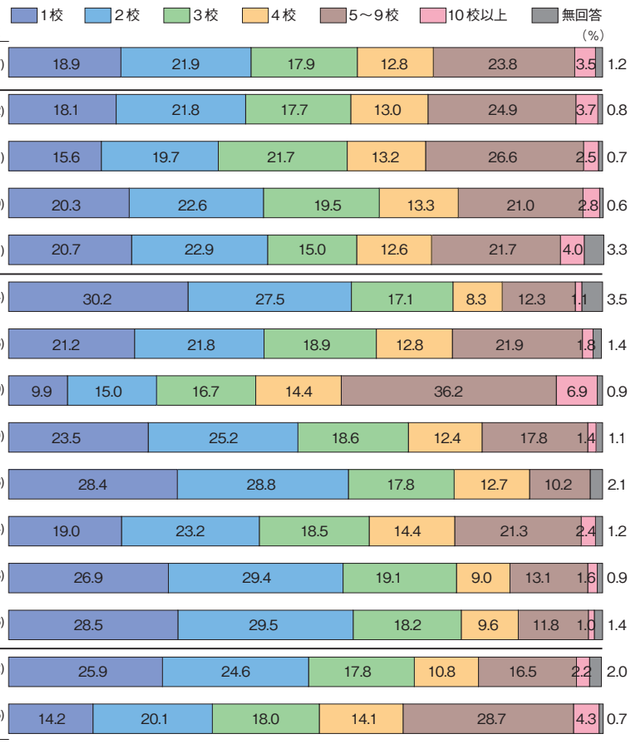
図表11　学校主催イベント参加経験（全体／複数回答）



		調査数	高校1年生	高校2年生	高校3年生	高校3年間 TOTAL
全体（2011年）		10882	32.3	60.1	78.1	90.9
全体（2009年）		13397	20.5	46.6	71.1	84.3
最終進路別	大学	7502	34.7	63.1	77.9	92.1
	短大	700	31.9	60.6	93.3	97.3
	専門学校	1479	24.8	54.0	92.4	95.9
	浪人	678	34.5	59.7	63.0	85.7
高校所在エリア別	北海道	442	21.9	45.5	73.3	84.6
	北関東・甲信越	1042	30.5	58.7	82.2	92.7
	南関東	3580	41.3	71.2	83.7	95.3
	東海	1363	26.9	54.1	73.7	88.7
	北陸	265	26.4	49.1	76.2	89.1
	関西	2053	30.3	57.2	79.3	91.8
	中国・四国	988	28.2	54.9	71.2	86.8
	九州・沖縄	1095	24.9	51.9	67.7	83.7
男女別	男子	4453	26.4	51.3	70.4	86.1
	女子	6324	36.6	66.4	83.6	94.5

※2009年は東北を含んだ数字　100.0「全体（2011年）」より5ポイント以上高い　100.0「全体（2011年）」より5ポイント以上低い
全体とは，大学・短大・専門学校進学者，浪人，就職，進路未定の合計。以下同。

図表12　学校主催イベント参加校数（全体のうち，学校主催イベント参加者[注1]／単一回答）



		調査数	1校	2校	3校	4校	5～9校	10校以上	無回答	平均校数 2011年	平均校数 2009年
全体[注1]		(n=9897)	18.9	21.9	17.9	12.8	23.8	3.5	1.2	3.66	3.40
最終進路別	大学	(n=6912)	18.1	21.8	17.7	13.0	24.9	3.7	0.8	3.73	3.50
	短大	(n=681)	15.6	19.7	21.7	13.2	26.6	2.5	0.7	3.69	3.36
	専門学校	(n=1419)	20.3	22.6	19.5	13.3	21.0	2.8	0.6	3.48	3.17
	浪人	(n=581)	20.7	22.9	15.0	12.6	21.7	4.0	3.3	3.60	3.26
高校所在エリア別	北海道	(n=374)	30.2	27.5	17.1	8.3	12.3	1.1	3.5	2.69	2.62
	北関東・甲信越	(n=966)	21.2	21.8	18.9	12.8	21.9	1.8	1.4	3.31	3.12
	南関東	(n=3410)	9.9	15.0	16.7	14.4	36.2	6.9	0.9	4.71	4.44
	東海	(n=1209)	23.5	25.2	18.6	12.4	17.8	1.4	1.1	3.07	3.08
	北陸	(n=236)	28.4	28.8	17.8	12.7	10.2		2.1	2.54	2.86
	関西	(n=1884)	19.0	23.2	18.5	14.4	21.3	2.4	1.2	3.45	3.28
	中国・四国	(n=858)	26.9	29.4	19.1	9.0	13.1	1.6	0.9	2.86	2.79
	九州・沖縄	(n=916)	28.5	29.5	18.2	9.6	11.8	1.0	1.4	2.76	2..55
男女別	男子	(n=3832)	25.9	24.6	17.8	10.8	16.5	2.2	2.0	3.10	2.93
	女子	(n=5975)	14.2	20.1	18.0	14.1	28.7	4.3	0.7	4.02	3.72

学校主催イベントに参加経験のある者に，誰と参加したかを尋ねた（図表14）。今年の大きな特徴は「友達と参加」が減少し（70.5％→69.3％），親との参加が増えている（35.4％→42.2％）点だ。特に女子の5割強が親と参加しており，男子（28.4％）を大きく上回る。最終進路別では短大が，エリア別では南関東が親と参加の割合が高い。都市部の女子を中心に親の関与が高まっていることがわかる。

大学は「雰囲気」，専門学校は「就職・資格・学費」を知りたい

では，学校主催イベントで知りたかったことを，進学先別に，特に大学進学者と専門学校進学者に分けて見てみよう（図表15，16）。

大学進学者が知りたかったことの1位は「キャンパスの雰囲気」（72.1％），2位が「学校で勉強できる内容」（65.3％），3位が「在校生の様子や雰囲気」（56.4％）だった。前回調査と比べても，順位に変動はない。さらに，進学校と多様校の違いを見てみると，多様校では，「入試の情報」よりも「取れる資格」のほうがポイントが高いほか，学費等の情報にも高い関心を持っている。

男女別では，女子のほうが全般的にポイント数は高い。また「キャンパスの雰囲気」「在校生の様子や雰囲気」「実習室や教室などの雰囲気」の項目で，女子が男子を大きく上回っていることから，女子は“雰囲気”を重視する傾向がよくわかる。

次に専門学校進学者が知りたかったことの1位は「学校で勉強できる内容」（65.6％），2位が「実習室や教室などの雰囲気」（59.7％），3位が「就職状況」（58.5％），4位が「取れる資格」。大学進学者とは上位の項目が異なり，実学を身につける場としての学習環境や出口に関する情報を知りたがっている。学費等への関心も大学進学者に比べ高い。また，ほぼすべての項目でポイント数が高いことから，学校主催イベントで得られる情報に高い期待を持っているようだ。

男女別では，やはり大学進学者同様，女子のほうがポイント数が高く，雰囲気を重視している。学費等への関心も女子のほうが高いようだ。

こうした期待感を持ちイベントに参加してみて，実際にはどんな点に満足・不満足だったのだろうか（図表17，18）。

大学進学者を見ると，前回同様，依然として「キャンパスを見られたこと」が8割強と群を抜いて高い。学部学科・カリキュラムの説明や，取れる資格，就職状況，在校生・先生の話等は，前回よりも微増したものの，4割に満たないのが現状だ。特に「模擬授業」が前回より8.4ポイントと大幅に低下していることに，少なからずショックを覚える大学関係者は多いのではないだろうか。

男女別では，男子のほうが満足度は低く，女子は「学部学科・カリキュラムの説明」「在校生の話・対応」が良かったと答えている。

合格入試別では，一般入試，センター入試の満足度が低く，推薦は高い傾向にある。

同様に専門学校進学者の満足度は大学進学者より多岐にわたり，上位5項目が60％前後で並び，施設・設備，キャンパスを見られたことなどが高いのは大学と同様（図表18）。違いは，体験実習や先生の話などの満足度も高い点だ。前回と比較すると，全般的にポイント数は下がったが，個別相談や奨学金の説明は満足度が高まっている。

一般4割，センター6割が進学先イベント不参加

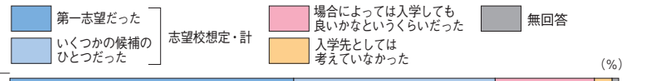
進学先校主催イベントに参加経験のある者に，イベントが役に立ったかどうかを尋ねた（図表19）。進学者全体では「役に立った・計」が94.4％と，ほとんどが役に立ったと回答。特に，前回に比べ「非常に役に立った」が66.8％と増加した。

最終進路別に見ると，専門学校進学者，短大進学者，大学進学者の順に「非常に役に立った」の割合が高いことがわかる。男子より女子のほうが「非常に役に立った」と評価が高い。

大学進学者に対して，役立ち度をさらに詳しく見たのが図表20。大学進学者で「非常に役に立った」の割合が，前回より2.1ポイント増加している。

男女別では，7割近くの女子が「非常に役に立った」と回答した一方，男子の割合は低い。また進学校より多様校のほうが役に立ったと感じており，合格入試別では，一般入試，センター入試の役立ち度が相対的に低い。なかでもセンター入試は，役立ち度が半数に満たない。

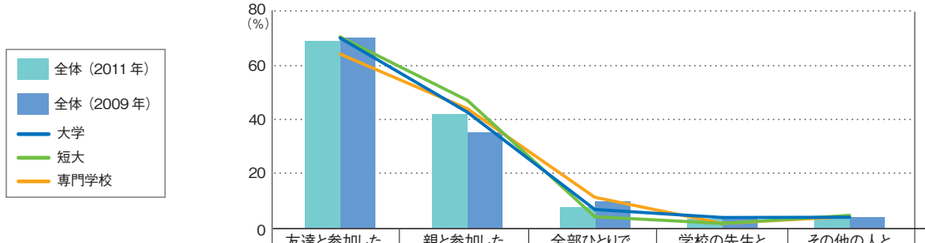
図表 13　進学先校　主催イベント参加時の志望度合い（進学者全体のうち，進学先校主催イベント参加者[注2]／単一回答）



		調査数	第一志望だった	いくつかの候補のひとつだった	場合によっては入学しても良いかなというくらいだった	入学先としては考えていなかった	無回答	志望校想定・計
進学者全体[注2]	（2011 年）	(n=6475)	46.6	33.1	16.3	2.9	1.1	79.7
	（2009 年）	(n=7426)	50.2	33.8	13.2	2.1	0.8	83.9
最終進路別	大学	(n=4680)	45.7	34.1	16.2	3.0	1.0	79.8
	短大	(n=555)	51.7	29.0	15.3	2.5	1.4	80.7
	専門学校	(n=1240)	47.7	31.2	17.3	2.6	1.2	78.9
高校所在エリア別	北海道	(n=241)	54.8	30.7	11.6	2.1	0.8	85.5
	北関東・甲信越	(n=644)	48.3	31.5	16.5	2.8	0.9	79.8
	南関東	(n=2256)	41.8	38.1	16.4	2.8	0.9	79.9
	東海	(n=778)	48.8	30.2	16.7	3.1	1.2	79.0
	北陸	(n=150)	53.3	25.3	17.3	2.7	1.3	78.7
	関西	(n=1265)	45.3	32.4	17.9	2.6	1.7	77.7
	中国・四国	(n=535)	51.2	30.5	14.8	2.6	0.9	81.7
	九州・沖縄	(n=575)	53.6	26.4	15.3	3.8	0.9	80.0
男女別	男子	(n=2217)	49.6	29.7	16.6	2.9	1.2	79.3
	女子	(n=4198)	44.9	35.0	16.2	2.9	1.0	79.9

※2009 年は東北を含んだ数字

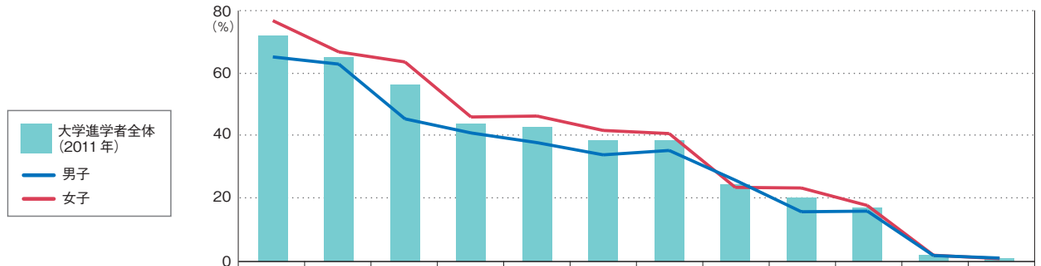
図表 14　学校主催イベント同伴者（全体のうち，学校主催イベント参加者[注3]／複数回答）



		調査数	友達と参加したことがある	親と参加したことがある	全部ひとりで参加した	学校の先生と参加したことがある	その他の人と参加したことがある	無回答
全体[注3]	（2011 年）	9897	69.3	42.2	7.6	3.3	4.1	5.1
	（2009 年）	11288	70.5	35.4	9.8	3.8	3.8	2.7
最終進路別	大学	6912	70.5	42.9	6.8	3.8	3.9	5.1
	短大	681	70.9	47.3	4.1	1.6	4.6	5.1
	専門学校	1419	64.5	44.2	11.3	1.6	4.2	4.4
	浪人	581	66.8	33.2	11.5	3.4	4.0	5.0
高校所在エリア別	北海道	374	64.2	27.3	12.0	2.9	4.8	5.3
	北関東・甲信越	966	64.7	45.4	7.9	4.3	4.6	5.0
	南関東	3410	72.7	47.9	7.3	1.9	4.2	3.8
	東海	1209	70.4	39.6	6.8	2.9	3.7	5.1
	北陸	236	58.9	38.6	10.6	6.4	1.7	6.8
	関西	1884	70.1	40.9	7.2	3.5	3.7	6.4
	中国・四国	858	62.1	41.7	9.0	4.0	4.5	5.9
	九州・沖縄	916	70.5	31.4	6.8	5.9	3.9	6.2
男女別	男子	3832	65.8	28.4	12.0	3.5	3.6	5.6
	女子	5975	71.6	51.1	4.9	3.1	4.4	4.8

※2009 年は東北を含んだ数字　100.0「全体（2011 年）」より５ポイント以上高い　100.0「全体（2011 年）」より５ポイント以上低い　※「全体（2011 年）」の降順ソート

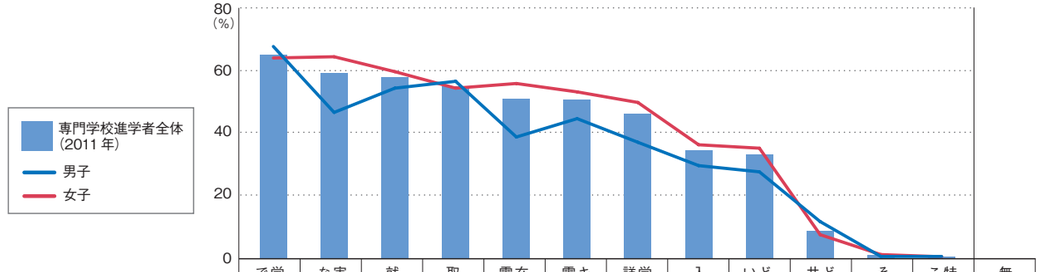
図表 15　進学先校　主催イベントで知りたかったこと（大学進学者全体のうち，進学先校主催イベント参加者[注4]／複数回答）



		調査数	キャンパスの雰囲気	学校で勉強できる内容	在校生の様子や雰囲気	入試の情報	実習室や教室などの雰囲気	取れる資格	就職状況	どんな部活・サークルがあるか	どんな先生がいるか	学費等の詳しい情報	その他	特に知りたいことはなかった
大学進学者全体[注4]	（2011 年）	4680	72.1	65.3	56.4	44.0	43.0	38.7	38.6	24.5	20.4	17.2	1.9	0.9
	（2009 年）	5119	74.2	64.7	57.1	43.9	41.8	36.9	35.1	23.6	19.1	16.1	1.8	0.9
男女別	男子	1828	65.3	63.0	45.5	41.0	37.9	34.0	35.4	25.9	15.8	16.0	1.8	1.0
	女子	2808	76.9	66.9	63.7	46.1	46.4	41.8	40.8	23.6	23.4	17.8	1.9	0.8
大短進学率別	70%以上・計	3310	74.0	64.5	57.3	44.0	43.3	35.7	37.9	23.6	19.3	14.4	1.8	0.9
	70%未満・計	1325	67.9	67.5	54.4	44.2	42.3	45.6	40.3	26.4	22.9	23.8	2.3	0.8
合格入試方法別	一般入試	1509	73.4	62.4	56.9	44.8	42.6	29.1	32.7	20.9	17.1	12.5	2.1	1.4
	センター入試	159	68.6	55.3	54.7	38.4	36.5	30.2	30.2	15.1	14.5	11.9	1.3	1.3
	ＡＯ	565	73.5	67.6	52.9	60.4	42.5	45.7	43.2	28.5	25.0	21.1	1.9	0.9
	公募推薦	814	73.6	67.7	61.4	55.9	49.0	43.7	37.7	22.5	23.7	22.1	2.0	0.1
	自己推薦	84	67.9	65.5	48.8	52.4	42.9	45.2	38.1	33.3	16.7	19.0	2.4	—
	指定校推薦	1278	71.9	66.6	56.2	32.0	42.0	45.1	45.8	29.7	21.2	19.6	1.3	0.5

※2009 年は東北を含んだ数字　100.0「大学進学者全体（2011 年）」より５ポイント以上高い　100.0「大学進学者全体（2011 年）」より５ポイント以上低い

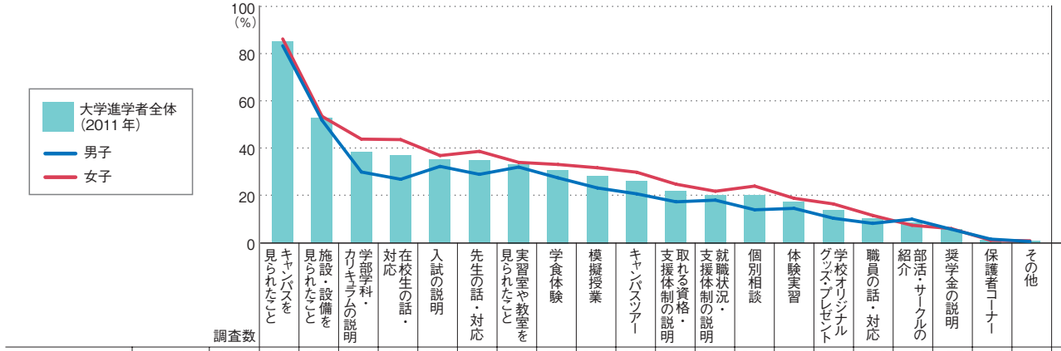
図表 16　進学先校　主催イベントで知りたかったこと（専門学校進学者全体のうち，進学先校主催イベント参加者[注5]／複数回答）



		調査数	学校で勉強できる内容	実習室や教室などの雰囲気	就職状況	取れる資格	在校生の様子や雰囲気	キャンパスの雰囲気	学費等の詳しい情報	入試の情報	どんな先生がいるか	どんな部活・サークルがあるか	その他	特に知りたいことはなかった	無回答
専門学校進学者全体[注5]	（2011 年）	1240	65.6	59.7	58.5	55.5	51.5	51.1	46.5	34.8	33.4	9.0	1.2	0.8	0.5
	（2009 年）	1581	71.3	64.5	59.8	56.4	55.6	53.2	44.1	36.8	34.3	8.0	1.6	0.3	0.3
男女別	男子	357	68.3	47.1	54.9	57.1	39.2	45.1	37.5	30.0	28.0	12.0	0.8	0.8	0.8
	女子	872	64.6	65.0	60.2	54.9	56.4	53.7	50.3	36.7	35.6	7.8	1.4	0.7	0.3
大短進学率別	70%以上・計	380	65.0	59.7	55.8	48.9	53.2	54.7	44.7	36.3	33.9	8.7	0.5	0.8	0.8
	70%未満・計	841	65.8	59.8	59.9	58.3	50.5	49.3	47.2	34.0	32.6	9.4	1.4	0.7	0.4
合格入試方法別	一般入試	164	67.7	65.9	51.2	45.7	45.1	50.0	45.1	34.1	29.3	7.3	2.4	0.6	1.2
	ＡＯ	373	66.8	57.4	65.1	60.9	52.5	50.7	47.2	35.9	36.7	9.9	0.3	0.5	0.3
	公募推薦	242	62.0	62.4	55.4	52.1	56.2	52.1	45.9	39.7	31.0	7.4	1.7	0.8	—
	自己推薦	88	75.0	47.7	51.1	58.0	54.5	52.3	43.2	27.3	30.7	13.6	1.1	1.1	1.1
	指定校推薦	299	63.2	61.2	61.2	57.2	48.8	52.5	49.2	32.8	35.5	10.0	1.0	1.0	0.3

※2009 年は東北を含んだ数字　100.0「専門学校進学者全体（2011 年）」より５ポイント以上高い　100.0「専門学校進学者全体（2011 年）」より５ポイント以上低い

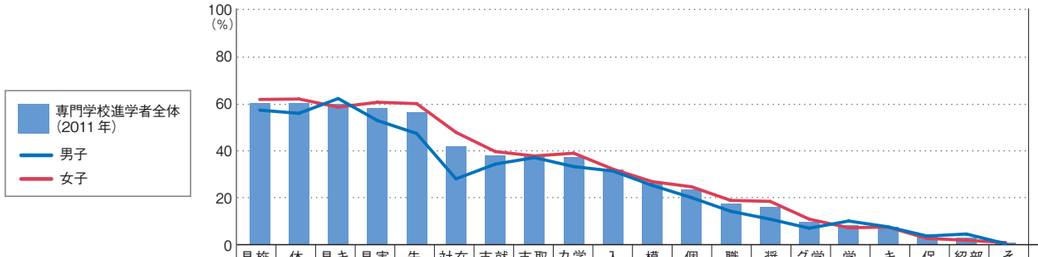
図表17　進学先校　主催イベントのよかったところ（大学進学者全体のうち，進学先校主催イベント参加者[注6]／複数回答）



		調査数	キャンパスを見られたこと	施設・設備を見られたこと	学部学科・カリキュラムの説明	在校生の話・対応	入試の説明	先生の話・対応	実習室や教室を見られたこと	学食体験	模擬授業	キャンパスツアー	取れる資格・支援体制の説明	就職状況・支援体制の説明	個別相談	体験実習	学校オリジナルグッズ・プレゼント	職員の話・対応	部活・サークルの紹介	奨学金の説明	保護者コーナー	その他	無回答
大学進学者全体[注6]	（2011年）	4680	86.0	53.4	38.8	37.4	35.6	35.3	33.8	31.3	28.8	26.6	22.3	20.6	20.4	17.6	14.3	10.5	8.7	6.2	1.5	1.0	0.2
	（2009年）	5119	85.8	53.0	34.8	33.2	36.2	33.8	35.3	32.8	37.2	26.4	19.9	18.0	19.9	16.3	15.0	10.5	8.8	4.5	1.3	0.9	0.8
男女別	男子	1828	84.2	52.4	30.4	27.3	32.8	29.4	32.5	27.9	23.6	21.1	17.7	18.4	14.3	14.9	10.7	8.5	10.3	6.0	1.8	0.8	0.3
	女子	2808	87.1	54.1	44.4	44.2	37.4	39.2	34.5	33.6	32.2	30.3	25.2	22.2	24.4	19.2	16.8	11.9	7.7	6.3	1.3	1.1	0.1
大短進学率別	70%以上・計	3310	86.8	53.5	37.8	37.5	35.4	33.9	33.1	29.7	28.1	26.5	20.2	20.0	19.9	15.9	13.2	10.3	7.6	4.7	1.3	1.0	0.2
	70%未満・計	1325	84.1	53.4	41.1	37.3	35.7	38.7	35.2	35.1	30.6	27.2	27.0	22.0	21.6	21.8	17.2	10.9	11.4	9.8	2.0	0.9	0.2
合格入試方法別	一般入試	1509	88.0	51.6	33.8	32.9	34.9	27.3	30.4	25.4	22.4	21.1	14.2	15.5	15.1	11.6	12.7	8.2	6.0	4.3	0.9	1.3	0.3
	センター入試	159	81.8	50.9	28.9	24.5	19.5	24.5	28.9	25.2	25.8	27.0	14.5	12.6	11.9	11.9	7.5	9.4	5.0	5.7	0.6	2.5	0.6
	AO	565	85.8	57.2	41.9	43.0	49.7	48.8	34.0	37.0	35.8	30.8	28.5	24.6	33.8	23.9	17.5	16.1	12.6	9.2	3.5	0.7	—
	公募推薦	814	85.1	54.4	44.8	41.8	44.6	41.9	39.8	34.5	33.4	27.0	27.4	23.6	23.3	18.8	16.5	12.3	7.7	6.8	1.0	1.0	0.1
	自己推薦	84	82.1	50.0	36.9	35.7	48.8	45.2	39.3	29.8	35.7	28.6	22.6	20.2	35.7	19.0	16.7	10.7	7.1	4.8	1.2	1.2	—
	指定校推薦	1278	86.6	54.3	41.7	39.1	27.0	35.4	34.2	35.2	29.7	30.8	27.1	24.8	20.1	20.7	14.8	10.0	10.8	7.0	1.7	0.5	0.2

※2009年は東北を含んだ数字　100.0「大学進学者全体（2011年）」より5ポイント以上高い　100.0「大学進学者全体（2011年）」より5ポイント以上低い

図表18　進学先校　主催イベントのよかったところ（専門学校進学者全体のうち，進学先校主催イベント参加者[注7]／複数回答）

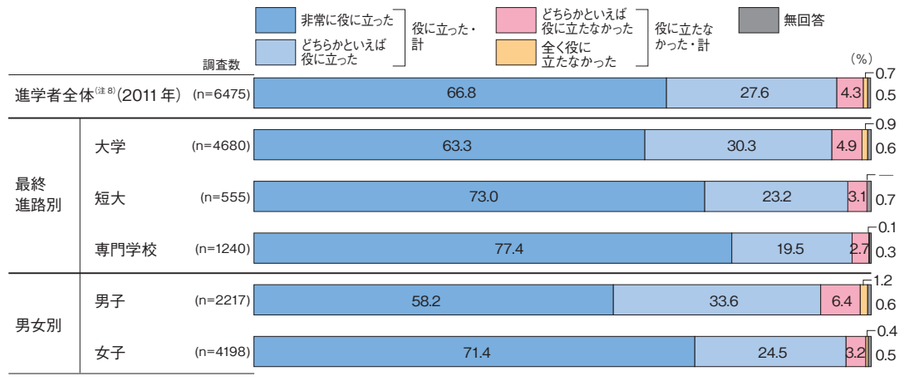


		調査数	施設・設備を見られたこと	体験実習	キャンパスを見られたこと	実習室や教室を見られたこと	先生の話・対応	在校生の話・対応	就職状況・支援体制の説明	取れる資格・支援体制の説明	学部学科・カリキュラムの説明	入試の説明	模擬授業	個別相談	職員の話・対応	奨学金の説明	学校オリジナルグッズ・プレゼント	学食体験	キャンパスツアー	保護者コーナー	部活・サークルの紹介	その他	無回答
専門学校進学者全体[注7]	（2011年）	1240	61.1	60.9	60.5	59.0	57.0	42.3	38.5	37.9	37.7	32.2	26.5	23.5	17.7	16.2	9.7	8.1	7.5	3.1	2.7	0.6	0.2
	（2009年）	1581	65.3	60.8	61.2	62.9	57.1	42.4	39.0	38.6	38.0	34.2	28.6	22.6	19.7	14.9	12.7	8.4	8.0	4.0	3.4	0.9	0.8
男女別	男子	357	58.0	56.6	63.0	53.5	47.9	28.3	34.7	37.5	33.6	31.7	25.5	20.2	14.3	10.9	7.0	10.1	7.6	3.6	4.5	0.3	0.3
	女子	872	62.6	62.8	59.3	61.4	60.8	48.4	40.1	38.2	39.4	32.5	27.1	24.9	19.0	18.6	10.9	7.2	7.5	2.6	1.8	0.8	0.1
大短進学率別	70%以上・計	380	63.7	58.7	62.9	57.6	56.8	45.0	38.7	33.2	35.0	31.6	25.3	25.8	19.7	17.1	9.2	5.5	10.0	3.7	2.1	0.5	—
	70%未満・計	841	60.5	61.6	59.3	59.7	56.8	41.3	38.6	40.0	38.8	32.7	27.1	22.4	16.8	16.1	10.1	9.4	6.5	2.9	3.0	0.6	0.2
合格入試方法別	一般入試	164	59.8	45.1	61.0	59.1	50.0	34.1	39.0	30.5	39.0	31.7	17.1	18.9	16.5	14.6	7.3	9.1	14.0	1.8	—	0.6	0.6
	AO	373	61.1	67.3	61.1	56.8	63.3	48.0	40.5	40.2	41.3	33.5	33.0	25.7	17.2	13.9	11.8	7.5	7.2	3.8	2.9	0.5	—
	公募推薦	242	67.8	62.0	63.6	65.3	62.0	47.9	38.8	38.0	40.5	32.2	26.0	21.5	20.2	18.6	7.9	6.2	5.0	2.1	3.7	0.4	—
	自己推薦	88	59.1	61.4	58.0	52.3	59.1	38.6	34.1	38.6	34.1	27.3	17.0	25.0	14.8	10.2	10.2	2.3	5.7	2.3	6.8	1.1	—
	指定校推薦	299	59.2	62.9	56.2	58.5	48.2	38.5	38.1	38.1	31.8	30.8	26.8	22.7	17.1	18.4	10.7	11.4	6.7	3.7	1.3	0.7	0.3

※2009年は東北を含んだ数字　100.0「専門学校進学者全体（2011年）」より5ポイント以上高い　100.0「専門学校進学者全体（2011年）」より5ポイント以上低い

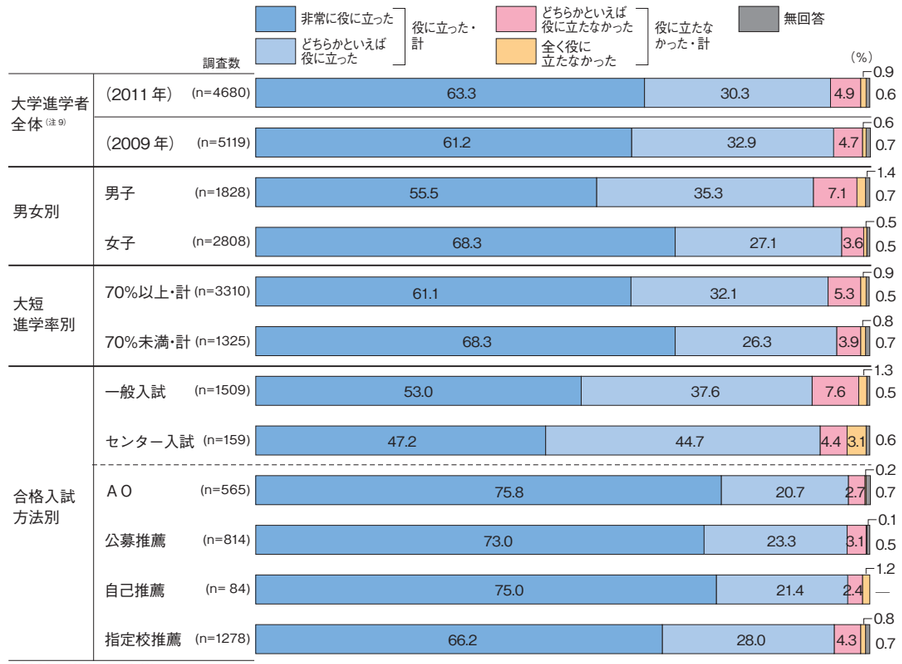
そこで，実際に進学した大学のオープンキャンパスに参加したかどうかを尋ねてみると，非参加者が約3割存在していた（図表21）。なかでも，一般入試入学者の4割強，センター入試入学者の6割近くが，進学先のオープンキャンパスに参加していなかった。図表にはないが，参加しなかった理由を尋ねると，約3割が「気づいた時には終わっていたから」と答えており，進路プロセスの後半で進路を決定する者に向けて，イベントの告知方法やイベント以外のコミュニケーションツールの再考が求められる。

図表19　進学先校　主催イベントの役立ち度（進学者全体のうち，進学先校主催イベント参加者[注8]／単一回答）



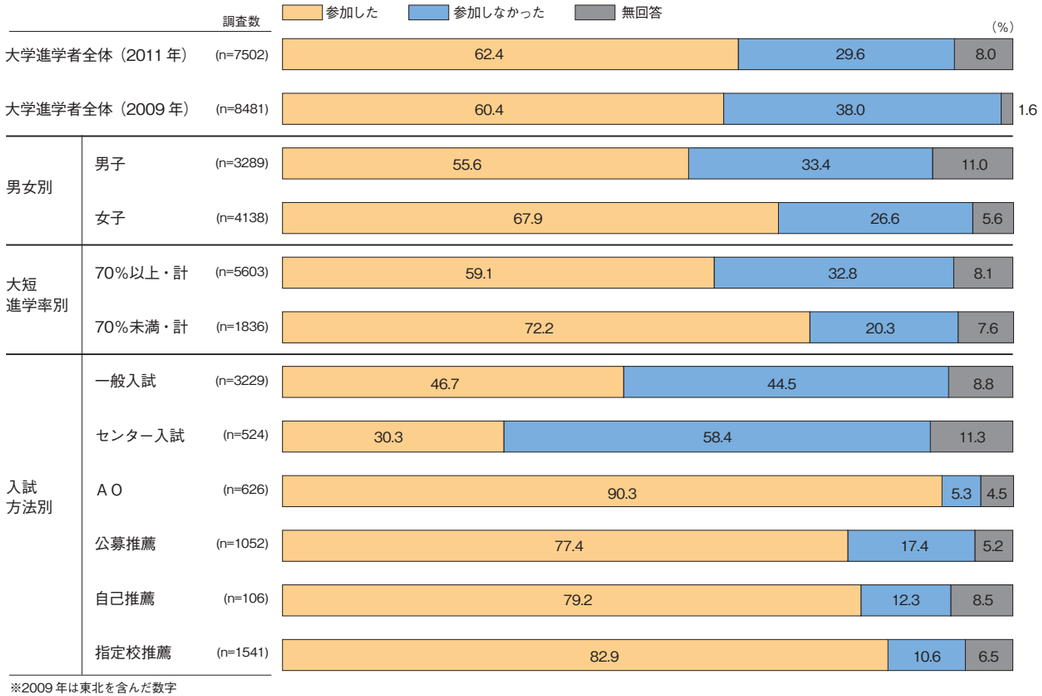
非常に役に立った	
2011年	2009年
66.8	66.0
63.3	61.2
73.0	73.1
77.4	78.4
58.2	58.1
71.4	70.8

図表20　進学先校　主催イベントの役立ち度（大学進学者全体のうち，進学先校主催イベント参加者[注9]／単一回答）



※2009年は東北を含んだ数字

図表21　進学先校　主催イベントの参加の有無（大学進学者全体／単一回答）



※2009年は東北を含んだ数字

学校を「決める」

高3で6割が志望校を変更

では，第一志望校を決めたり，出願を出したりする「決める」時期について詳細に見てみる。

大学，短大，専門学校それぞれに対して，最終進学先別に出願状況をみたのが図表22である。

全校種に対する「興味関心校数」「資料請求校数」「出願校数」「出願件数」は，2009年に比べ増加した。

属性別にみると，大学への「興味関心校数」「資料請求校数」はすべての進路先で増加した。「出願校数」「出願件数」，は大学のみ増加で，短大・専門学校進学者では減少している。

短大へは，「興味関心校数」「資料請求校数」「出願校数」「出願件数」の全項目で，短大進学者を除きほぼ減少傾向にある。

専門学校へは，「興味関心校数」「資料請求校数」はすべての進路先で増加。「出願校数」「出願件数」は，短大進学者を除くすべてで増加した。

大学進学者に対する出願校数分布を見ると（図表23），平均校数は3.01校と，2009年の2.89校から増加した。エリア別には，平均校数が最も少ない北海道は「1校」が5割超に達する一方，平均校数が最も多い南関東は，「5校以上」が32.6%を占めている。

男女別には，平均校数は男子のほうが多い。

また多様校より進学校のほうが出願校数が多く，多様校は「1校」が5割超となった。

合格入試方法別に見るとさらに違いが顕著になる。一般入試とセンター入試は平均校数が4校以上。「5校以上」が4割近く，「1校」は1割にも満たない。一方，推薦は平均校数が約2校以下，ボリュームゾーンは「1校」で，特にAOは7割超，指定校は8割近くにも達する。

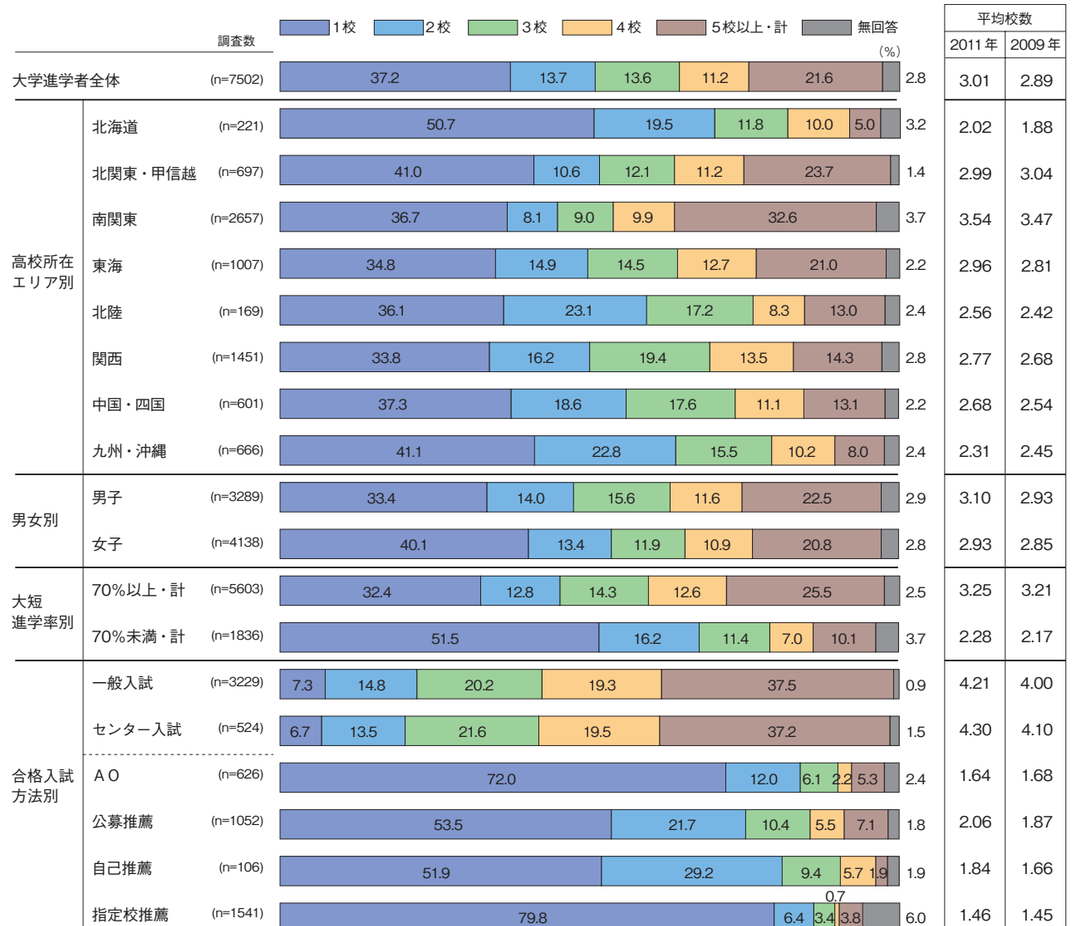
大学進学者に対して，高校3年の時に第一志望校を変更した経験が

図表22　興味関心・資料請求・出願校数，出願件数　平均値一覧：主要属性別

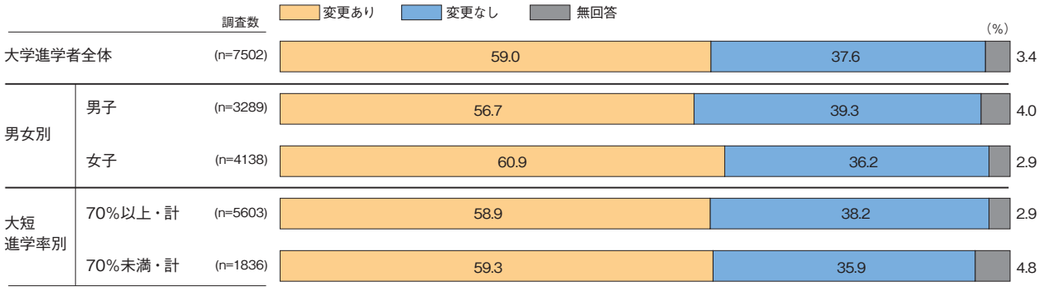
	調査年	調査数	大学				短大				専門学校				全校種・計			
			興味関心校数	資料請求校数	出願校数	出願件数	興味関心校数	資料請求校数	出願校数	出願件数	興味関心校数	資料請求校数	出願校数	出願件数	興味関心校数	資料請求校数	出願校数	出願件数
大学	2011年	7502	6.41	6.49	3.01	3.82	2.09	2.18	1.42	1.52	3.01	3.12	1.93	1.98	7.07	7.13	3.09	3.90
	2009年	8481	5.74	5.78	2.89	3.59	2.14	2.22	1.46	1.51	2.72	2.87	1.82	1.93	6.26	6.29	2.96	3.66
短大	2011年	700	4.67	4.92	2.72	3.20	2.73	2.71	1.32	1.36	3.30	3.34	1.73	1.75	7.22	7.22	2.25	2.43
	2009年	910	4.52	4.51	2.83	3.49	2.63	2.62	1.32	1.37	2.82	2.96	2.09	2.09	6.27	6.20	2.16	2.37
専門学校	2011年	1479	4.08	4.27	2.27	2.59	2.21	2.27	1.31	1.39	3.94	3.98	1.48	1.48	6.37	6.37	1.91	1.95
	2009年	1890	3.80	3.89	2.35	2.70	2.30	2.33	1.43	1.49	3.39	3.40	1.43	1.44	5.29	5.24	1.80	1.86

※2009年は東北を含んだ数字　※各項目とも上記各平均値は、回答欄への記入が「1件（1校）」以上の者を母数として算出している（0や無回答者は母数に含めない）

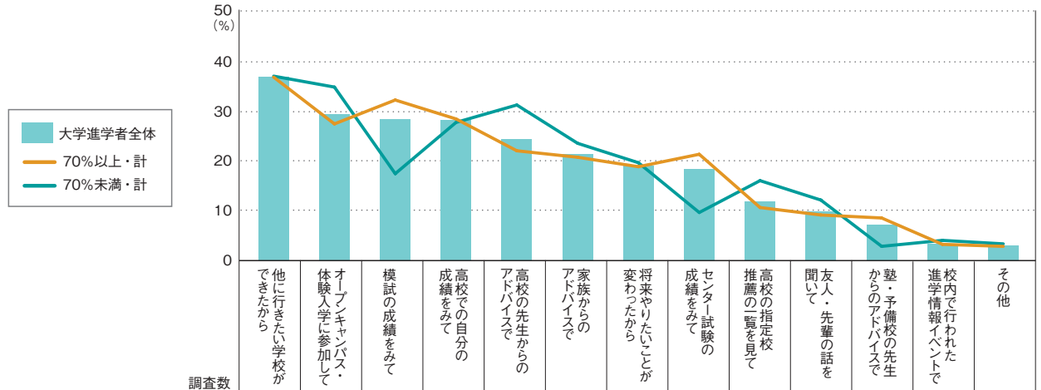
図表23　出願校数分布＜大学＞（大学進学者全体／各単一回答）



図表24　第一志望校変更経験（大学進学者全体／単一回答）



図表25　第一志望校変更理由（大学進学者全体のうち，第一志望校変更経験者／複数回答）



		調査数	他に行きたい学校ができたから	オープンキャンパス・体験入学に参加して	模試の成績をみて	高校での自分の成績をみて	高校の先生からのアドバイスで	家族からのアドバイスで	将来やりたいことが変わったから	センター試験の成績をみて	高校の指定校推薦の一覧を見て	友人・先輩の話を聞いて	塾・予備校の先生からのアドバイスで	校内で行われた進学情報イベントで	その他
大学進学者全体		4424	37.0	29.5	28.5	28.3	24.4	21.5	19.1	18.5	12.0	9.9	7.2	3.5	3.1
男女別	男子	1866	32.0	22.0	30.8	30.8	23.0	19.7	15.5	21.1	11.4	10.8	7.8	3.2	2.5
	女子	2518	40.8	35.0	26.8	26.5	25.4	22.8	21.8	16.4	12.5	9.4	6.9	3.8	3.5
大短進学率別	70%以上・計	3299	36.9	27.5	32.3	28.5	22.1	20.8	18.9	21.4	10.7	9.2	8.6	3.3	2.9
	70%未満・計	1088	37.1	34.9	17.5	27.8	31.3	23.6	19.7	9.7	16.1	12.2	2.9	4.1	3.4

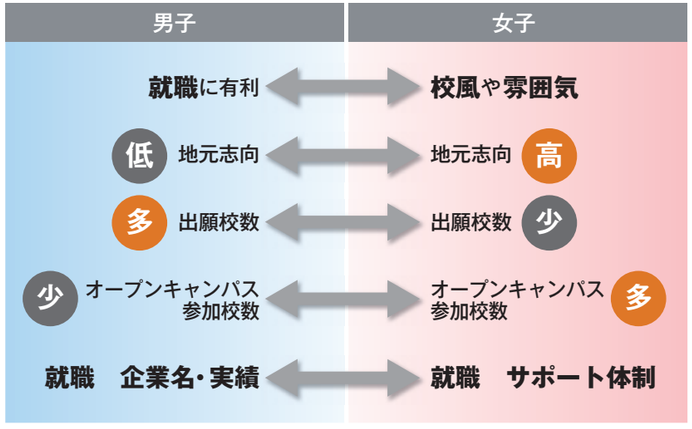
100.0「大学進学者全体」より５ポイント以上高い　　100.0「大学進学者全体」より５ポイント以上低い

あるかを尋ねたところ（図表24），6割近くが第一志望校を変更していた。変更理由はというと（図表25），1位の「他に行きたい学校ができたから」（37.0%），2位の「オープンキャンパス・体験入学に参加して」（29.5%）と回答した者が約3割存在した。特に上位2位については，女子の占める割合が高く，男子は低い。女子はオープンキャンパス・体験入学への参加によっても，志望校を変えていることがわかる。また，進学率別に比べると全く違った動きをしており，1位は変わらないものの，進学校は模試やセンターの成績，多様校はオープンキャンパスや高校の先生からのアドバイスに大きな影響を受けているのがわかる。

最後に，これまでの進路選択行動の傾向を男女別にまとめてみた（図表26）。進路選択において，男子は「就職に有利」を重視するのに対し，女子は「校風や雰囲気」を重視する傾向にある。女子のほうが地元志向は強い。またオープンキャンパスに積極的に情報を取りに行くのは女子であり，出願校数も女子のほうが少ない。男子よりも女子のほうが志望校の検討を念入りに行い，出願校を絞り込んでいるのかもしれない。就職への意識はおもしろい結果が出ており，男子は，大手・有名企業への就職実績を重視している。言いかえると，就職実績校に入学すれば就職できると楽観視しているとも考えられる。これに対し，女子は確実に就職できるかどうか，サポート体制を重視していることがわかった。■

（文／本誌・能地泰代）

図表26　＜まとめ＞ 高校生の進路選択行動傾向（男子・女子）



●調　査　概　要●

■調査目的
高校生の進路選択プロセス（行動・意識）を中心に，進路選択に際しての情報源，進路指導の内容と影響などを把握し，高校生の進路選択の現状を明らかにする。

■調査方法
質問紙による郵送法

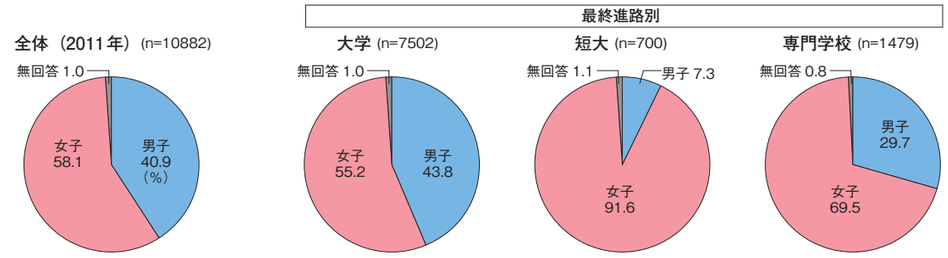
■調査対象
2011年3月11日の東日本大震災の影響を考慮し，「青森，秋田，山形，岩手，宮城，福島の全エリアと茨城一部エリアを除く全国」の高校に在籍する 2011年3月高校卒業の男女8万544人
※平成22年度学校基本調査の「全日制・本科3年生生徒数（県別）」を基に，リクルートが保有するリストより調査対象とする数を算出

■調査期間
2011年3月18日（金）～4月8日（金）投函締切

■有効回答数
1万882人（有効回答率13.5％）

●回答者プロフィール●

■性別（全体／単一回答）



■高校所在エリア（全体／単一回答）　(%)

		調査数	北海道	東北	北関東・甲信越	南関東	東海	北陸	関西	中国・四国	九州・沖縄	その他	無回答
全体（2011年）		10882	4.1	—	9.6	32.9	12.5	2.4	18.9	9.1	10.1	—	0.5
最終進路別	大学	7502	2.9	—	9.3	35.4	13.4	2.3	19.3	8.0	8.9	—	0.4
	短大	700	5.1	—	10.0	26.3	11.9	3.9	20.3	10.6	11.6	—	0.4
	専門学校	1479	7.9	—	11.4	23.3	9.7	2.6	16.0	13.3	15.1	—	0.6
	浪人	678	4.0	—	7.8	43.8	8.0	2.2	18.3	8.0	7.1	—	0.9

※全体には上記の進路のほか，就職，進路未定を含む。

この記事は参考になりましたか？ご意見をお聞かせください
※ご使用の環境によってはセキュリティ警告が表示される場合がございます
ご意見・ご感想フォームを開く